

令和 6 年

救 急 統 計

姫路市消防局

救 急 概 要	1
---------------	---

第 1 救急出場の状況

1 救急出場件数	3
2 救急出場件数の推移	4
3 過去 10 年間の救急出場件数の推移	4
4 事故種別出場件数構成比の推移	5
5 月別出場件数	6
6 曜日別出場件数	6
7 時間別出場件数	6
8 小学校区別出場状況	7
9 隊別活動状況	8
10 当市が行った応援出場状況	10
11 当市が受けた応援の状況	10
12 要保護者の搬送状況	10
13 隊別救急出場の推移	11
14 中核市消防本部の救急概況	12

第 2 傷病者の状況

1 事故別・傷病程度別搬送人員	13
2 年齢別・事故別搬送人員	14
3 年齢別・傷病程度別搬送人員	14
4 年齢別・事故別人口比	14
5 医療機関の選定状況	15
6 診療時間別搬送人員	15
7 管轄外への救急搬送	16
8 過去 5 年間の傷病程度構成比の推移	16
9 過去 5 年間の急病件数の推移	17
10 科目別傷病程度と傷病名（急病）	17
11 受傷部位・傷病程度と傷病名（外傷）	17
12 発生場所別傷病程度（交通事故）	18
13 発生場所別傷病程度（一般負傷）	18
14 過去 5 年間の転院搬送人員の推移	18

15	転院の理由	1 8
16	転院医療機関	1 9
17	管轄外・県外の転院医療機関	1 9
18	隊員の行った応急処置の状況	1 9
19	応急処置実施状況	2 0
20	救急資器材使用状況	2 0
21	搬送体位別搬送人員	2 0
22	救命率	2 1
23	不搬送状況	2 1
24	不搬送理由	2 1
25	過去5年間の傷病者の推移	2 2
26	市民処置状況	2 3
27	救急救命士の特定行為等実施状況の推移	2 3

付 表

救急関連業務

1	救急体制	2 4
2	医療体制	2 6
3	応急救護知識の普及	3 1
4	各研修実施状況	3 2
5	事後検証委員会実施状況	3 3
6	家島町における救急発生状況	3 3
7	指輪切断（リングカッター）使用状況.....	3 3
8	PA出動件数.....	3 4
9	サンスカード交付件数.....	3 4
10	月別搬送困難件数.....	3 4
	救急業務沿革	3 5

- 統計中の符号の用法は、次のとおりです。
「－」該当事案なし
「0」単位未満
「▲」負数
- 構成比等、端数処理の関係上、表中の計算が合わないことがあります。

救 急 概 要

令和 6 年中における姫路市消防局の救急出場件数は、35,278 件で前年比 936 件の増加となっています。搬送人員は、28,952 人で、前年比 1,702 人増加しており、1 日平均 96.4 件、約 15 分に 1 件の割合で救急車が出場し、管轄内住民の約 19 人に 1 人を搬送したことになります。

1 日の最多出場は、12 月 30 日(月)に 159 件を記録しています。

搬送人員を事故種別でみると、急病が最も多く、次いで一般負傷、転院搬送、交通事故の順となっています。

また、年齢別搬送人員では高齢者(65 歳以上)が 18,233 人で、全体の 63%を占めています。

1 出場件数

(1) 事故別出場件数

出場件数のうち最も多いのが急病で 22,776 件(64.6%)、次いで一般負傷 5,683 件(16.1%)、転院搬送 3,357 件(9.5%)、交通事故 2,234 件(6.3%)となっています。

(2) 月別、曜日別、時間別状況

ア 月別出場件数は、12 月が 3,451 件で最も多く、次いで 7 月(3,446 件)、8 月(3,297 件)となっています。

イ 曜日別出場件数(1 日平均)は、月曜日(100.8 件)、土曜日(98.7 件)の出場が多くなっています。

ウ 時間別出場件数(1 時間平均)は、10 時台(6.50 件)、9 時台(6.46 件)の出場が多くなっています。

(3) 1 件あたりの平均所要時間及び平均走行距離

平均所要時間は、指令から現場到着まで 7 分 53 秒、現場到着から病院到着まで 33 分 41 秒、指令から帰署まで 66 分 43 秒となっています。

救急車の平均走行距離は出場から現場まで 3.8km、現場から病院まで 7.9km、出場から帰署まで 19.7 kmとなっています。

2 傷病者の状況

傷病者を程度別にみると、中等症 15,879 人(54.8%)、軽症 11,720 人(40.5%)、重症・重篤・死亡 1,353 人(4.7%)の順となっております。

3 医療機関の選定

医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く 22,823 人(78.8%)、次いで医師 3,923 人(13.6%)、関係者等 2,173 人(7.5%)の順となっています。

4 特定行為

救急救命士による特定行為は、心肺停止患者に対する器具による気道確保が 416 件(うち気管挿管 22 件)、静脈路確保が 438 件、アドレナリン投与 148 件を実施しています。また、除細動は 43 件、血糖測定は 548 件、ブドウ糖投与は 74 件、心肺停止前輸液は 134 件でした。

5 予後状況

救急隊が心肺蘇生法を実施した 530 人中、30 日以上生存者は 35 人で、そのうち 15 人が社会復帰されています。

第1 救急出場の状況

1 救急出場件数

出場件数は35,278件で、前年に比べて936件増加しています。

(令和6年中)

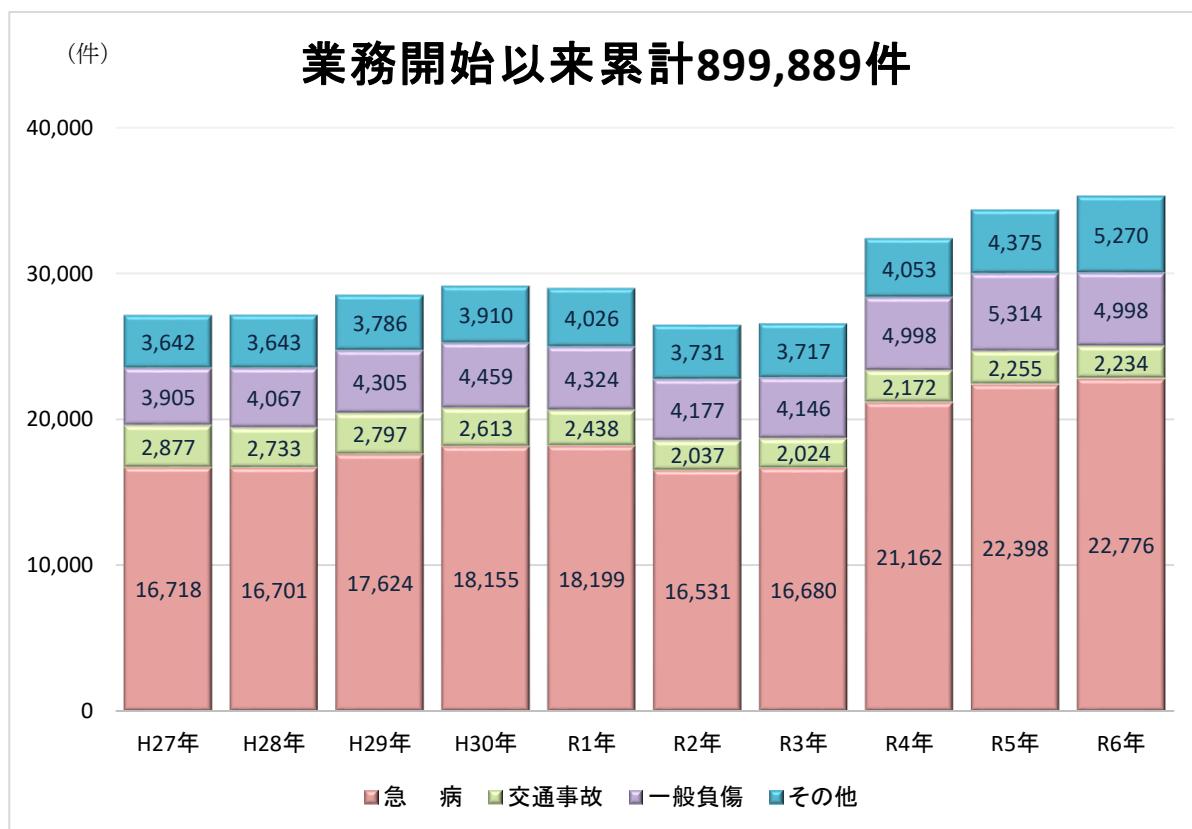
区 分	姫路市消防局				姫路市			管轄外	
	出場件数	前年件数	前年比	構成比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年比
火 災	191	255	▲ 64	1	171	237	▲ 66	3	-
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	21	20	1	0	21	19	2	-	-
交通事故	2,234	2,255	▲ 21	6	2,119	2,129	▲ 10	5	▲ 3
労働災害	350	304	46	1	319	279	40	-	▲ 1
運動競技	177	158	19	1	168	153	15	-	-
一般負傷	5,683	5,314	369	16	5,318	4,947	371	-	▲ 2
加 害	142	142	-	0	138	141	▲ 3	-	-
自損行為	264	307	▲ 43	1	245	283	▲ 38	-	-
急 病	22,776	22,398	378	65	21,354	20,914	440	4	2
転院搬送	3,357	3,083	274	10	3,156	2,889	267	-	-
その他	83	106	▲ 23	0	78	98	▲ 20	-	-
合 計	35,278	34,342	936	100	33,087	32,089	998	12	▲ 4

区 分 (受託町等)	受託町合計			市川町			福崎町			神河町		
	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比	出場件数	前年件数	前年比
火 災	17	15	2	3	3	-	12	7	5	2	5	▲ 3
自然災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 難	-	1	▲ 1	-	-	-	-	-	-	-	1	▲ 1
交通事故	110	118	▲ 8	34	25	9	47	65	▲ 18	29	28	1
労働災害	31	24	7	6	3	3	19	16	3	6	5	1
運動競技	9	5	4	4	1	3	5	4	1	-	-	-
一般負傷	365	365	-	108	100	8	137	164	▲ 27	120	101	19
加 害	4	1	3	1	-	1	3	1	2	-	-	-
自損行為	19	24	▲ 5	4	7	▲ 3	7	11	▲ 4	8	6	2
急 病	1,418	1,482	▲ 64	433	430	3	621	636	▲ 15	364	416	▲ 52
転院搬送	201	194	7	19	15	4	99	104	▲ 5	83	75	8
その他	5	8	▲ 3	1	1	-	3	4	▲ 1	1	3	▲ 2
合 計	2,179	2,237	▲ 58	613	585	28	953	1,012	▲ 59	613	640	▲ 27

2 救急出場件数の推移

年次	件数	年次	件数	年次	件数	年次	件数
昭和33年	81	昭和50年	6,415	平成4年	10,010	平成21年	22,827
34年	91	51年	6,407	5年	10,492	22年	24,291
35年	257	52年	6,317	6年	10,761	23年	26,046
36年	494	53年	6,638	7年	12,063	24年	26,892
37年	698	54年	6,765	8年	12,321	25年	27,177
38年	1,114	55年	7,280	9年	12,813	26年	27,117
39年	1,817	56年	7,404	10年	13,331	27年	27,142
40年	2,214	57年	7,869	11年	14,144	28年	27,144
41年	2,837	58年	8,312	12年	15,428	29年	28,512
42年	3,062	59年	8,492	13年	16,195	30年	29,137
43年	3,181	60年	8,659	14年	16,955	令和元年	28,987
44年	3,972	61年	8,445	15年	17,739	2年	26,476
45年	4,918	62年	8,495	16年	18,802	3年	26,567
46年	5,499	63年	9,049	17年	19,671	4年	32,385
47年	6,172	平成元年	9,660	18年	19,340	5年	34,342
48年	6,412	平成2年	9,779	19年	22,679	6年	35,278
49年	6,021	3年	10,006	20年	21,993		
法制化				事務受託開始			

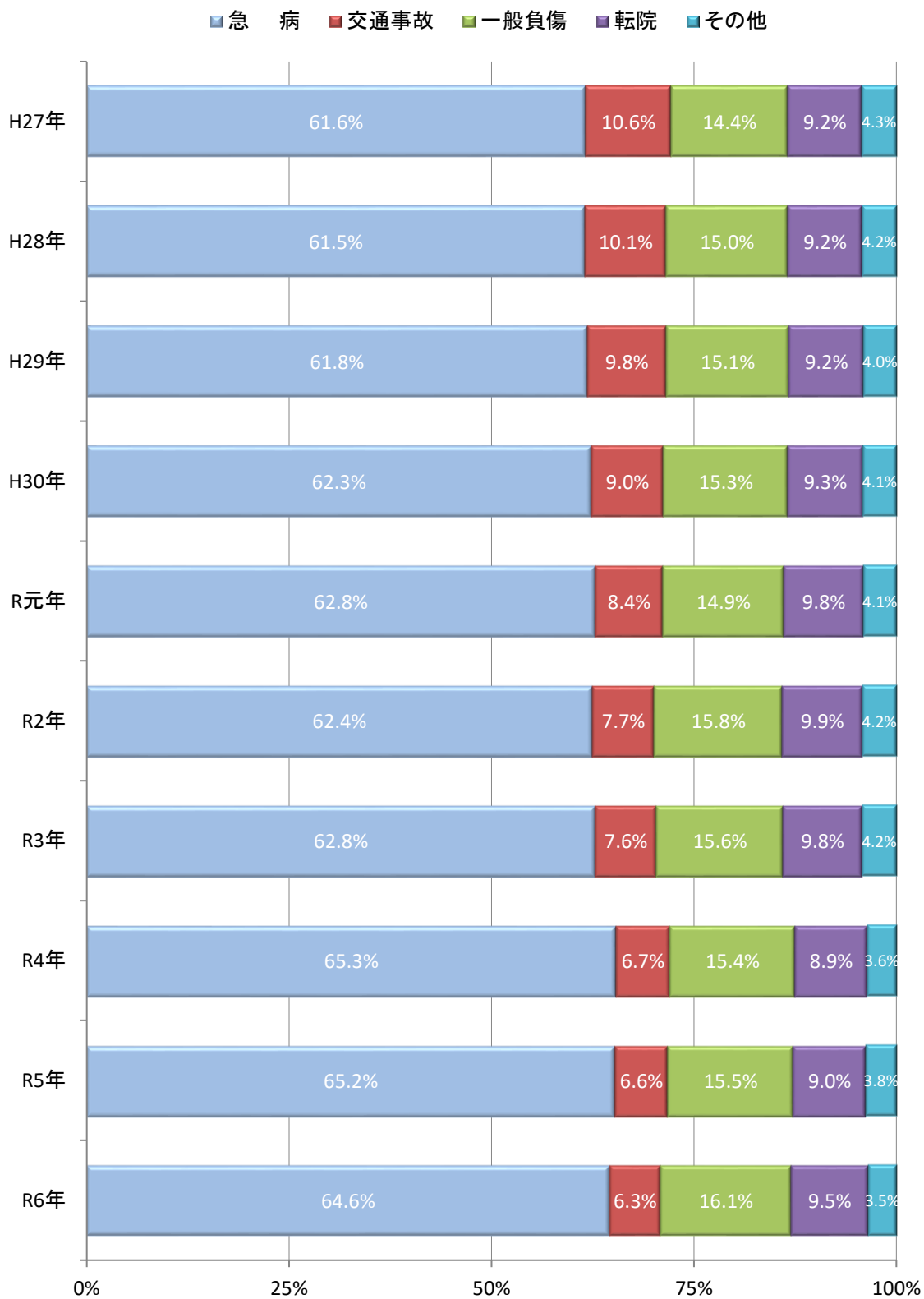
3 過去10年間の救急出場件数の推移



4 事故種別出場件数構成比の推移

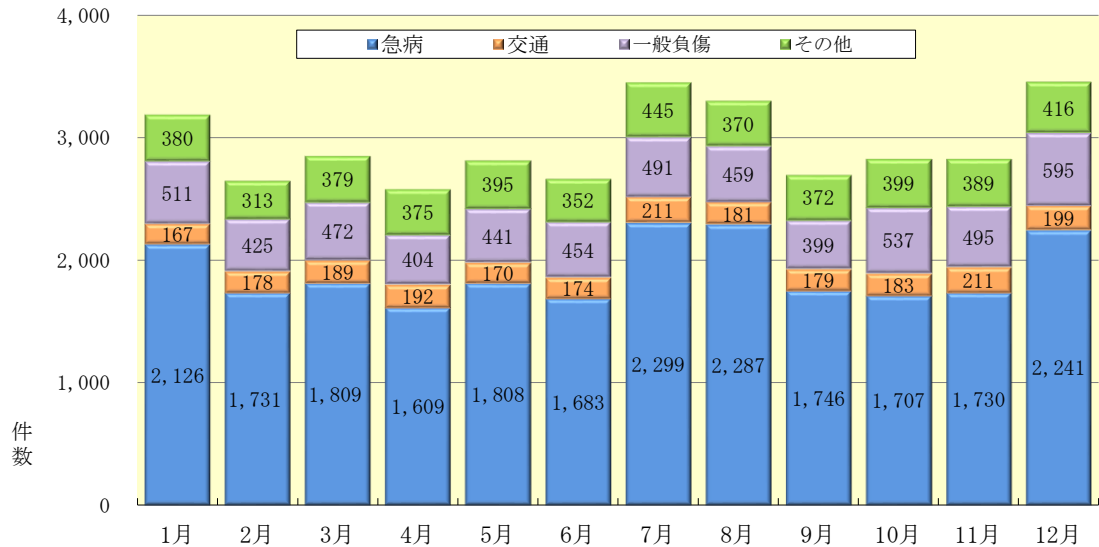
急病が高い割合で推移しています。

急病・交通事故・一般負傷・転院搬送の割合が全体の約97%となっています。



5 月別出場件数

12月が3,451件で最も多く、次いで7月(3,446件)、8月(3,297件)の順となっています。



6 曜日別出場件数

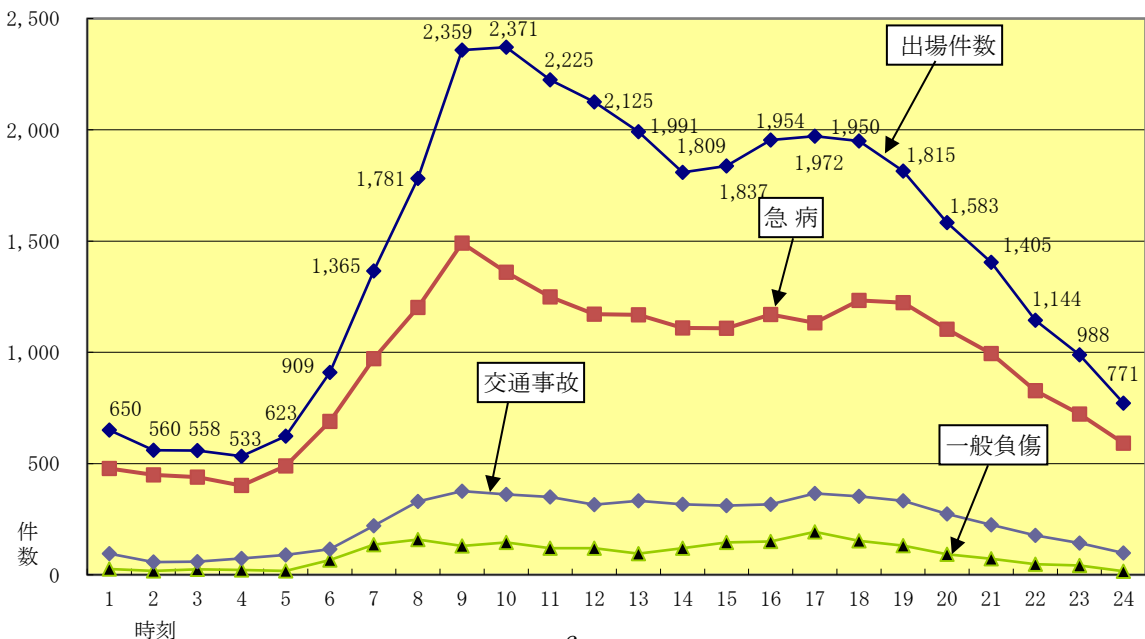
曜日別出場件数は、月曜日(100.8件)、土曜日(98.7件)の出場が多くなっています。

曜 日	合 計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
件 数	35,278 (33,087)	5,037 (4,711)	5,340 (5,029)	5,199 (4,878)	4,739 (4,470)	4,753 (4,447)	5,080 (4,743)	5,130 (4,809)
1 日 平 均	96.4 (90.4)	96.9 (90.6)	100.8 (94.9)	98.1 (92.0)	91.1 (86.0)	91.4 (85.5)	97.7 (91.2)	98.7 (92.5)
比 率 (%)	100.0	14.3	15.1	14.7	13.4	13.5	14.4	14.5
日 数	366	52	53	53	52	52	52	52

(参考) 1日最高は、12月30日(月)に159件を記録し、過去最多出場となりました。
()内は姫路市の数値です。

7 時間別出場件数

時間別出場件数は、10時台(6.5件)、9時台(6.46件)の出場が多くなっています。



8 小学校区別出場状況

校区別出場件数は、前年に比べ高岡・高浜校区等が増加し、勝原・津田校区等が減少しています。

校区		令和6年	令和5年	増減数
合 計		35,278	34,342	936
姫路東消防署	小 計	9,620	9,363	257
	白 鷺	1,791	1,776	15
	野 里	575	554	21
	城 東	751	644	107
	東	618	565	53
	花 田	634	642	▲8
	城 北	370	353	17
	広 峰	531	549	▲18
	水 上	427	425	2
	砥 堀	494	510	▲16
	城 乾	274	232	42
	増 位	485	492	▲7
	四 郷	500	467	33
	御 国 野	563	516	47
	別 所	422	433	▲11
	谷 外	327	327	-
	谷 内	105	119	▲14
	豊 富	413	393	20
	山 田	103	115	▲12
	船 津	237	251	▲14
姫路西消防署	小 計	9,403	9,055	348
	城 陽	1,143	1,083	60
	手 柄	863	869	▲6
	船 場	582	608	▲26
	荒 川	885	862	23
	高 岡	1,062	922	140
	安 室	552	497	55
	城 西	480	488	▲8
	安 室 東	572	511	61
	高 岡 西	600	636	▲36
	曾 左	650	629	21
	白 鳥	591	531	60
	太 市	120	97	23
	林 田	234	215	19
	伊 勢	57	65	▲8
	峰 相	254	243	11
	青 山	538	513	25
	安 富 南	201	258	▲57
	安 富 北	19	28	▲9
飾磨消防署	小 計	8,487	8,196	291
	飾 磨	1,363	1,248	115
	津 田	600	677	▲77
	英 賀 保	1,057	936	121
	高 浜	825	691	134
	妻 鹿	257	231	26
	広 畑	497	499	▲2
	広畑第二	541	529	12
	八 幡	886	830	56

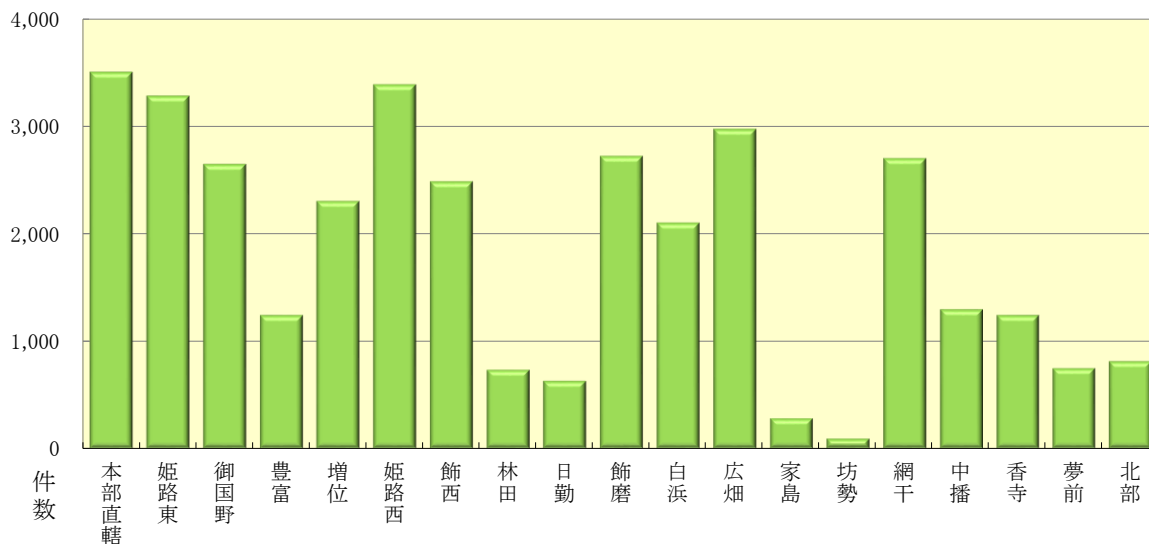
校区		令和6年	令和5年	増減数
飾磨消防署	白 浜	806	875	▲69
	八 木	114	120	▲6
	糸 引	490	474	16
	的 形	266	299	▲33
	大 塩	408	401	7
	家 島	285	264	21
	坊 勢	92	122	▲30
網干消防署	小 計	3,685	3,602	83
	大 津	695	658	37
	大 津 茂	199	206	▲7
	南 大 津	370	323	47
	網 干	563	563	-
	旭 陽	603	550	53
	勝 原	640	719	▲79
	余 部	241	225	16
	網 干 西	374	358	16
	小 計	4,071	4,110	▲39
中播磨消防署	置 塩	185	214	▲29
	古 知	98	99	▲1
	前 之 庄	333	306	27
	苅 野	60	73	▲13
	上 菅	107	88	19
	菅 生	211	163	48
	香 呂	445	458	▲13
	香 呂 南	97	123	▲26
	中 寺	356	349	7
	福 崎	385	399	▲14
	高 岡	60	63	▲3
	田 原	387	415	▲28
	八 千 種	121	135	▲14
	川 辺	195	173	22
	甘 地	168	149	19
管 外 ※	瀬 加	104	106	▲2
	鶴 居	146	157	▲11
	神 崎	384	417	▲33
	寺 前	180	182	▲2
	長 谷	49	41	8
管 外 ※		12	16	▲4

※管外とは、近隣市町への出場です。

9 隊別活動状況

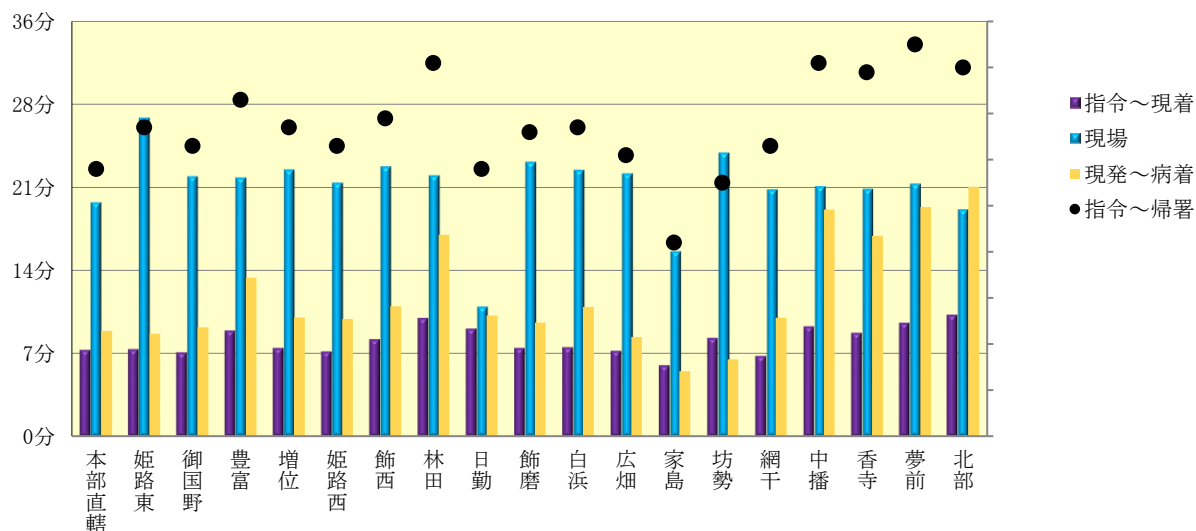
署・隊別 区 分			今年	前年数	前年比	消防局	姫路東消防署			
						本部直轄	姫路東	御国野	豊富	増位
出場状況	出場件数 (件)		35,278	34,342	936	3,505	3,285	2,652	1,252	2,308
	比率 (%)		100.0	—	—	9.9	9.3	7.5	3.6	6.5
	前年出場件数 (件)		34,342	—	—	3,319	3,221	2,552	1,251	2,306
	前年比 (件)		936	—	—	186	64	100	1	2
搬送人員 (人)			28,952	27,250	1,702	2,751	2,477	2,129	997	1,827
不搬送件数 (件)			6,461	7,197	▲736	768	820	540	261	484
1日平均 (件)			96.4	94.1	2.3	9.6	9.0	7.3	3.4	6.3
1日最高 (件)			159	142	17	21	15	15	10	13
急病の割合 (%)			64.6	65.2	▲0.7	64.4	65.9	68.2	63.3	68.9
交通事故の割合 (%)			6.3	6.6	▲0.2	8.5	6.5	6.6	6.6	5.4
一般負傷の割合 (%)			16.1	15.5	0.6	16.6	16.1	14.9	17.1	17.1
転院搬送の割合 (%)			9.5	9.0	0.5	7.3	7.5	6.0	9.6	6.0
常置場所以外からの出場件数 (件)			3,710	3,512	198	275	377	265	184	235
連続出場 (件)			3,288	2,969	319	271	351	245	110	204
ドクターカー連携 (件)			481	483	▲2	75	68	50	23	43
ドクターヘリ連携 (件)			44	75	▲31	—	—	—	—	—
1件 当たりの 所要時間	受付～指令		1'53"	1'44"	0'09"	1'54"	1'51"	1'48"	1'49"	1'48"
	指令～現場		7'53"	7'47"	0'06"	7'28"	7'32"	7'15"	9'08"	7'39"
	現場		22'26"	22'54"	▲0'28"	20'18"	27'37"	22'33"	22'27"	23'09"
	現場～病院		11'15"	11'22"	▲0'07"	9'09"	8'54"	9'27"	13'45"	10'19"
	病院		13'45"	14'53"	▲1'08"	14'38"	16'33"	13'06"	13'16"	14'22"
	現着～病着		33'41"	34'16"	▲0'35"	29'27"	36'31"	32'00"	36'11"	33'28"
	指令～帰署		66'43"	67'03"	▲0'20"	58'18"	67'25"	63'25"	73'02"	67'01"
1件 当たりの 走行距離 (km)	出場～現場		3.8	3.8	—	3.1	3.2	3.5	5.2	3.1
	現場～病院		7.9	8.1	▲0.2	5.3	5.7	6.3	10.1	6.5
	出場～帰署		19.7	20.0	▲0.3	13.9	14.4	15.6	26.1	16.7
全所要時間 (時間)			39,227	38,375	852	3,406	3,691	2,803	1,524	2,578

・隊別出動件数の比較



姫路西消防署				飾磨消防署					網干署	中播消防署			
姫路西	飾西	林田	日勤	飾磨	白浜	広畑	家島	坊勢	網干	中播	香寺	夢前	北部
3,387	2,491	739	634	2,727	2,108	2,976	284	92	2,704	1,307	1,252	754	821
9.6	7.1	2.1	1.8	7.7	6.0	8.4	0.8	0.3	7.7	3.7	3.6	2.1	2.3
3,663	2,387	718	—	2,680	2,123	2,867	264	122	2,605	1,338	1,299	767	860
▲276	104	21	634	47	▲15	109	20	▲30	99	▲31	▲47	▲13	▲39
2,968	2,066	651	633	2,272	1,645	2,481	264	83	2,235	1,086	1,090	636	661
434	436	92	1	465	474	505	21	9	475	224	165	125	162
9.3	6.8	2.0	1.7	7.5	5.8	8.1	0.8	0.3	7.4	3.6	3.4	2.1	2.2
17	13	7	7	16	15	14	4	3	15	11	10	9	7
60.6	65.8	66.2	1.7	65.6	66.6	65.1	58.5	53.3	68.4	67.5	67.8	67.5	65.4
5.4	6.0	6.0	0.2	7.6	7.0	7.7	1.4	7.6	6.0	4.7	4.8	6.2	4.4
16.8	16.6	18.3	—	15.6	16.2	15.9	15.1	17.4	16.9	16.8	16.8	15.4	18.4
13.5	8.4	6.0	98.1	7.9	5.7	7.5	23.9	19.6	5.4	7.5	6.7	6.6	9.9
369	251	100	65	378	226	306	15	3	327	76	110	97	51
349	235	55	62	368	204	293	3	—	312	52	67	75	32
36	38	10	—	26	21	28	1	—	17	16	17	9	3
—	—	3	—	—	—	—	6	6	3	10	2	5	9
1'45"	1'43"	1'35"	2'02"	2'51"	1'54"	1'59"	1'44"	1'42"	1'43"	1'39"	1'38"	1'33"	1'34"
7'20"	8'24"	10'14"	9'18"	7'38"	7'41"	7'24"	6'09"	8'30"	6'56"	9'30"	8'56"	9'48"	10'30"
22'00"	23'26"	22'38"	11'17"	23'49"	23'07"	22'49"	16'05"	24'37"	21'25"	21'42"	21'29"	21'56"	19'42"
10'10"	11'17"	17'29"	10'28"	9'52"	11'14"	8'37"	5'38"	6'40"	10'17"	19'41"	17'23"	19'53"	21'38"
12'04"	13'08"	12'19"	11'00"	15'24"	16'29"	13'36"	10'14"	8'56"	13'48"	10'40"	13'11"	12'12"	11'49"
32'10"	34'43"	40'07"	21'45"	33'40"	34'21"	31'26"	21'43"	31'17"	31'42"	41'23"	38'52"	41'49"	41'21"
63'24"	69'26"	81'49"	58'22"	66'13"	67'22"	61'08"	42'08"	55'32"	63'06"	81'30"	79'21"	85'24"	80'13"
3.5	4.0	7.2	6.0	3.6	3.6	3.2	1.1	1.6	3.1	5.1	4.2	6.3	6.5
6.3	7.2	13.6	8.4	6.2	7.5	5.6	1.4	2.9	6.9	18.2	14.8	16.7	21.8
15.8	18.4	35.2	22.4	15.9	19.3	14.5	3.7	6.7	17.8	40.7	34.0	40.0	48.0
3,579	2,883	1,008	617	3,009	2,367	3,032	199	85	2,844	1,775	1,656	1,073	1,098

・隊別1件当たりの所要時間の比較



10 当市が行った応援出場状況

「消防業務の相互応援に関する協定」に基づき、近隣市町へ出場しています。

市 町 \ 事故別	件 数	火災	交通事故	一般負傷	急病	その他
高 砂 市	3	—	—	—	3	—
加 古 川 市	2	—	2	—	—	—
た つ の 市	2	2	—	—	—	—
太 子 町	2	—	1	1	—	—
加 西 市	3	1	1	—	1	—
合 計	12	3	4	1	4	—

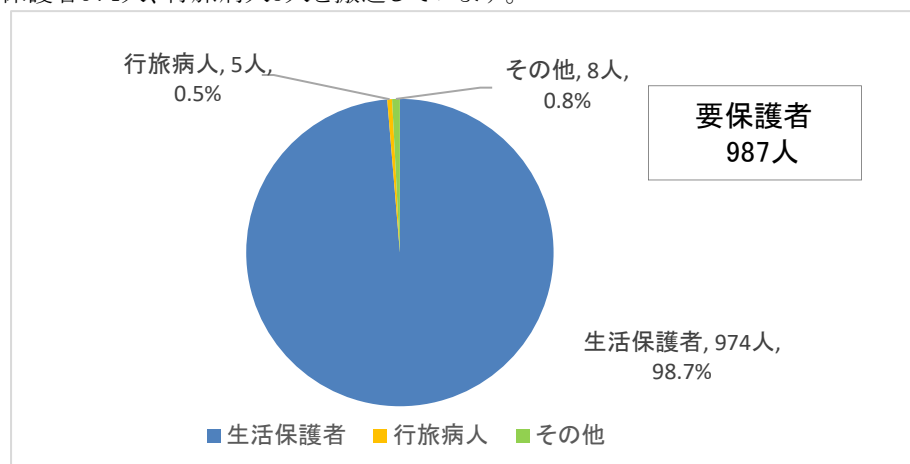
11 当市が受けた応援の状況

当市が受けた応援は15件でした。

消防本部 \ 事故別	件 数	急病	交通事故	一般負傷	その他
高 砂 市	6	3	2	1	—
加 古 川 市	6	—	3	3	—
西 は り ま	2	—	—	—	2
北 は り ま	1	—	—	—	1
合 計	15	3	5	4	3

12 要保護者の搬送状況

生活保護者974人、行旅病人5人を搬送しています。



過去5年の要保護者の搬送状況

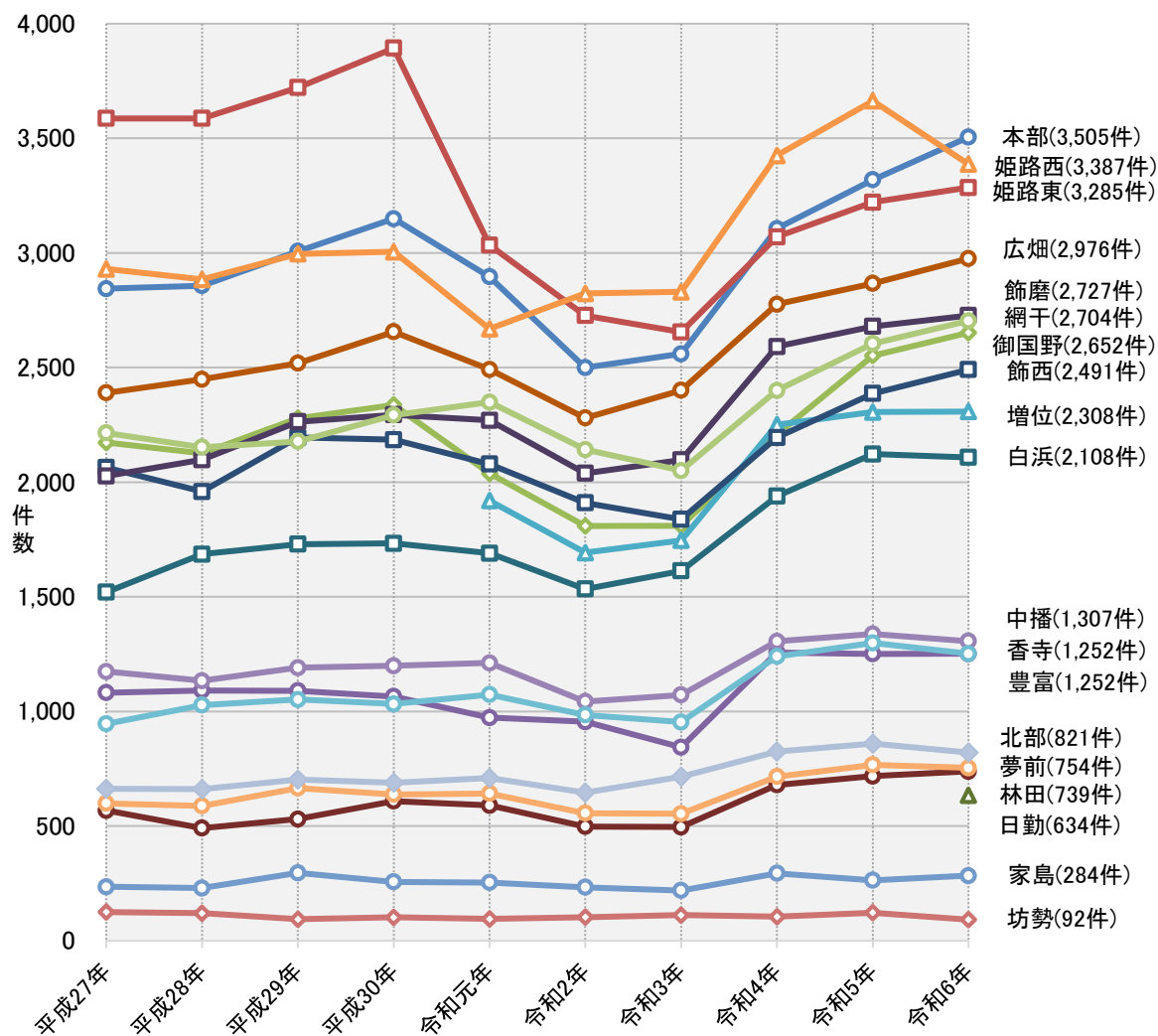
	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
生 活 保 護 者	974	860	787	695	732
行 旅 病 人	5	5	6	6	8
そ の 他	8	10	13	7	5
合 計	987	875	806	708	745

※ その他は、生活困窮者等です。

13 隊別救急出場の推移

本部直轄救急隊が最も多く出場し、年間出場件数3,505件で1日平均9.6件となっております。

年次		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
区 分											
本 部 直 轄	姫 路 東	2,844	2,857	3,007	3,149	2,896	2,500	2,560	3,106	3,319	3,505
	御 国 野	3,587	3,587	3,721	3,893	3,034	2,727	2,655	3,070	3,221	3,285
	豊 富	2,173	2,126	2,279	2,337	2,038	1,809	1,810	2,208	2,552	2,652
	増 位	1,082	1,092	1,090	1,065	973	955	844	1,257	1,251	1,252
姫 路 西	姫 路 西	-	-	-	-	1,920	1,693	1,746	2,251	2,306	2,308
	飾 西	2,930	2,884	2,996	3,005	2,669	2,823	2,830	3,425	3,663	3,387
	林 田	2,064	1,959	2,195	2,185	2,079	1,910	1,838	2,195	2,387	2,491
	日 勤	568	491	531	609	590	498	496	680	718	739
飾 磨	飾 磨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	634
	白 浜	2,027	2,098	2,264	2,294	2,270	2,039	2,097	2,592	2,680	2,727
	広 畑	1,520	1,686	1,730	1,733	1,690	1,534	1,613	1,939	2,123	2,108
	家 島	2,390	2,449	2,519	2,656	2,492	2,280	2,401	2,776	2,867	2,976
網 干	坊 勢	235	230	296	257	254	233	219	294	264	284
	坊 勢	125	120	94	102	95	103	112	105	122	92
	中 播	2,215	2,153	2,178	2,293	2,349	2,142	2,051	2,400	2,605	2,704
	香 寺	1,174	1,134	1,191	1,199	1,212	1,043	1,072	1,306	1,338	1,307
中 播	夢 前	946	1,028	1,052	1,033	1,074	985	954	1,240	1,299	1,252
	北 部	599	588	666	638	642	556	554	716	767	754
	北 部	663	662	703	689	710	646	715	825	860	821
	合 計	27,142	27,144	28,512	29,137	28,987	26,476	26,567	32,385	34,342	35,278



14 中核市消防本部の救急概況（令和6年中）

消防本部名	出場件数	前年比	管轄人口	人口1万人当たりの 出場件数	救急隊数	1隊当たりの 出場件数
姫路市	35,278	936	563,930	626	19	1,857
函館市	17,978	▲ 1,139	236,515	760	10	1,798
旭川市	20,111	▲ 444	329,306	611	15	1,341
青森地域広域	13,830	▲ 293	284,633	486	13	1,064
八戸地域広域	14,589	▲ 633	302,019	483	16	912
盛岡地区広域	20,498	93	448,335	457	19	1,079
秋田市	14,033	▲ 740	307,672	456	9	1,559
山形市	12,747	0	262,916	485	8	1,593
福島市	15,233	532	274,681	555	10	1,523
郡山地方広域	19,527	285	375,880	520	18	1,085
水戸市	18,468	240	288,782	640	10	1,847
宇都宮市	27,337	186	512,063	534	14	1,953
川越地区	22,410	497	373,949	599	9	2,490
川口市	37,471	1,507	607,447	617	15	2,498
越谷市	20,070	492	342,681	586	9	2,230
横須賀市	30,581	494	410,010	746	13	2,352
柏市	26,223	▲ 158	426,468	615	14	1,873
富山市	23,534	380	403,757	583	16	1,471
金沢市	24,982	2,080	463,254	539	12	2,082
福井市	11,972	▲ 81	254,021	471	9	1,330
長野市	23,771	481	383,554	620	20	1,189
松本広域	21,528	451	423,668	508	14	1,538
岐阜市	29,112	257	531,886	547	22	1,323
豊橋市	18,452	107	366,089	504	10	1,845
岡崎市	19,204	123	382,656	502	13	1,477
一宮市	20,746	52	376,861	550	12	1,729
豊田市	21,629	▲ 93	414,502	522	17	1,272
大津市	20,830	35	343,600	606	10	2,083
吹田市	23,401	252	385,567	607	10	2,340
高槻市	25,450	707	345,589	736	12	2,121
枚方寝屋川	46,617	902	627,022	743	17	2,742
東大阪市	38,530	▲ 1,175	478,539	805	12	3,211
尼崎市	34,599	537	454,167	762	10	3,460
明石市	18,533	745	306,821	604	7	2,648
西宮市	29,451	765	482,496	610	11	2,677
和歌山市	22,679	265	352,941	643	13	1,745
鳥取県東部広域	11,960	▲ 275	216,320	553	13	920
松江市	10,836	▲ 156	203,616	532	13	834
倉敷市	27,520	412	498,330	552	17	1,619
呉市	12,114	31	201,242	602	14	865
福山地区	26,941	837	506,835	532	16	1,684
下関市	17,542	193	255,051	688	10	1,754
高松市	27,344	303	467,067	585	14	1,953
松山市	31,543	1,556	498,420	633	17	1,855
高知市	20,718	▲ 334	316,410	655	11	1,883
久留米広域	24,998	▲ 408	448,582	557	16	1,562
長崎市	29,058	▲ 43	461,903	629	15	1,937
佐世保市	18,921	226	321,087	589	17	1,113
大分市	24,971	1,423	472,898	528	13	1,921
宮崎市	22,785	1,072	420,273	542	10	2,279
鹿児島市	38,648	102	582,717	663	18	2,147
那覇市	24,776	1,075	317,625	780	7	3,539

※ 調査時点で暫定値を掲載している消防本部もあります。

第2 傷病者の状況

1 事故別・傷病程度別搬送人員

傷病者の程度別をみると、中等症が1,318人と大幅に増加しています。

		合		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	その他		前	前
		計		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	転	そ	年	年
				災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	院	の	人	比
														送	他	数	比
合 計		28,952	(100.0)	20	-	11	1,868	331	167	4,775	99	154	18,190	3,336	1	27,250	1,702
				(0.1)	(-)	(0.0)	(6.5)	(1.1)	(0.6)	(16.5)	(0.3)	(0.5)	(62.8)	(11.5)	(0.0)		
姫路市消防局	死 亡		312	-	-	1	8	1	-	24	1	11	266	-	-	309	3
	重 篤		250	-	-	-	5	5	-	17	-	5	214	4	-	252	▲2
	重 症	28,952	791	3	-	-	68	21	-	69	7	7	501	115	-	886	▲95
	中等症	(100.0)	15,879	13	-	8	484	147	35	2,163	16	83	9,846	3,083	1	14,561	1,318
	軽 症		11,720	4	-	2	1,303	157	132	2,502	75	48	7,363	134	-	11,242	478
姫路市	死 亡		286	-	-	1	6	1	-	21	1	10	246	-	-	280	6
	重 篤		233	-	-	-	5	4	-	16	-	5	199	4	-	236	▲3
	重 症	27,155	743	2	-	-	61	21	-	67	7	6	474	105	-	831	▲88
	中等症	(93.8)	14,878	13	-	8	460	127	34	2,008	15	79	9,227	2,906	1	13,536	1,342
	軽 症		11,015	3	-	2	1,243	148	126	2,363	74	47	6,887	122	-	10,596	419
	小 計		27,155	18	-	11	1,775	301	160	4,475	97	147	17,033	3,137	1	25,479	1,676
市川町	死 亡		4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	-	6	▲2
	重 篤		4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	4	-
	重 症	492	16	-	-	-	3	-	-	-	-	1	12	-	-	15	1
	中等症	(1.7)	270	-	-	-	5	4	1	46	-	2	195	17	-	255	15
	軽 症		198	-	-	-	18	1	2	42	-	-	133	2	-	185	13
	小 計		492	-	-	-	26	6	3	89	-	3	346	19	-	465	27
福岡市	死 亡		9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	9	-
	重 篤		10	-	-	-	-	-	-	1	-	-	9	-	-	6	4
	重 症	779	12	-	-	-	2	-	-	-	-	-	9	1	-	22	▲10
	中等症	(2.7)	397	-	-	-	10	13	-	47	1	-	238	88	-	462	▲65
	軽 症		351	-	-	-	27	6	4	63	1	1	240	9	-	324	27
	小 計		779	-	-	-	39	19	4	111	2	2	504	98	-	823	▲44
神河町	死 亡		13	-	-	-	2	-	-	2	-	-	9	-	-	14	▲1
	重 篤		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	6	▲3
	重 症	519	20	1	-	-	2	-	-	2	-	-	6	9	-	18	2
	中等症	(1.8)	332	-	-	-	8	3	-	62	-	2	185	72	-	305	27
	軽 症		151	-	-	-	14	2	-	34	-	-	100	1	-	133	18
	小 計		519	1	-	-	26	5	-	100	-	2	303	82	-	476	43
管外	死 亡		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 篤		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	重 症	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中等症	(0.0)	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	3	▲1
	軽 症		5	1	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	4	1
	小 計		7	1	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	7	-

() 内の数値は構成比 (%)

※ 重篤とは、生命の危険が切迫しているものをいう。
 重症とは、3週間以上の入院加療を要するものをいう。
 中等症とは、3週間未満の入院加療を要するものをいう。
 軽症とは、入院加療を必要としないものをいう。

2 年齢別・事故別搬送人員

年齢別搬送人員は、高齢者が過半数を占めています。

年齢 事故別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
急病	18,190 (62.8)	15 (0.1)	870 (3.0)	511 (1.8)	5,032 (17.4)	11,762 (40.6)
交通	1,868 (6.5)	－ (－)	46 (0.2)	207 (0.7)	1,025 (3.5)	590 (2.0)
一般	4,775 (16.5)	1 (0.0)	378 (1.3)	196 (0.7)	802 (2.8)	3,398 (11.7)
その他	4,119 (14.2)	12 (0.0)	57 (0.2)	190 (0.7)	1,377 (4.8)	2,483 (8.6)
合計	28,952 (100.0)	28 (0.1)	1,351 (4.7)	1,104 (3.8)	8,236 (28.4)	18,233 (63.0)

年齢区分

※ ()内の数値は構成比 (%)

新生児: 生後28日未満の者

成人: 満18歳以上65歳未満の者

3 年齢別・傷病程度別搬送人員

年齢 程度別	合計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
死亡	312 (1.1)	－ (－)	2 (0.0)	－ (－)	44 (0.2)	266 (0.9)
重篤	250 (0.9)	－ (－)	3 (0.0)	1 (0.0)	57 (0.2)	189 (0.7)
重症	791 (2.7)	3 (0.0)	11 (0.0)	13 (0.0)	192 (0.7)	572 (2.0)
中等症	15,879 (54.8)	13 (0.0)	365 (1.3)	284 (1.0)	3,513 (12.1)	11,704 (40.4)
軽症	11,720 (40.5)	12 (0.0)	970 (3.4)	806 (2.8)	4,430 (15.3)	5,502 (19.0)
合計	28,952 (100.0)	28 (0.1)	1,351 (4.7)	1,104 (3.8)	8,236 (28.4)	18,233 (63.0)

年齢区分

※ ()内の数値は構成比 (%)

新生児: 生後28日未満の者

成人: 満18歳以上65歳未満の者

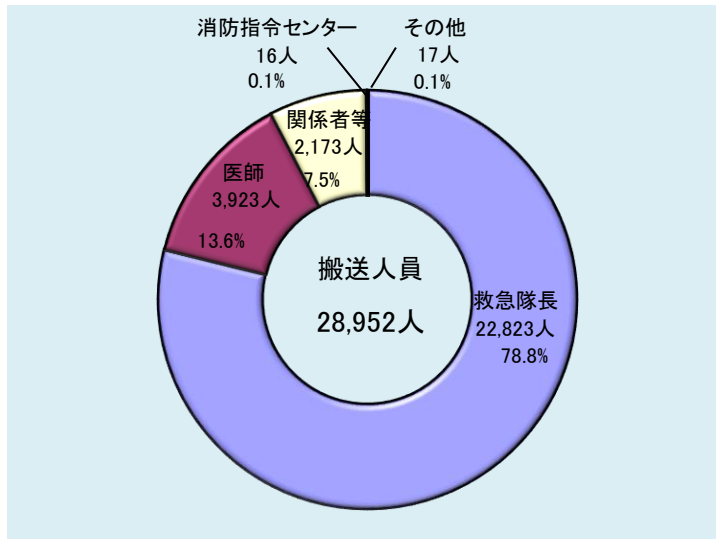
4 年齢別・事故別人口比(人口1,000人当たりの搬送人員)

年齢別・事故別人口比は、80歳以上の急病が約126人と最も多く、管轄住民の約19人に1人を搬送したことになります。

	合計	0～3	4～6	7～9	10～15	16～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80以上
人口	563,930 (524,149)	15,547 (14,696)	13,321 (12,512)	14,572 (13,651)	31,651 (29,545)	21,865 (20,327)	58,396 (54,951)	58,979 (55,372)	74,664 (69,884)	83,275 (77,971)	65,232 (59,877)	71,888 (65,663)	54,540 (49,700)
急病	32.3 (32.5)	43.7 (43.7)	15.4 (15.3)	8.7 (8.6)	7.9 (7.9)	12.2 (12.4)	14.4 (14.6)	13.4 (13.7)	13.0 (13.2)	18.2 (18.6)	27.5 (28.1)	54.1 (54.8)	125.9 (128.5)
交通	3.3 (3.4)	1.4 (1.5)	1.8 (1.8)	2.6 (2.7)	2.9 (3.0)	5.8 (6.0)	4.6 (4.6)	2.8 (2.9)	2.4 (2.4)	2.9 (3.0)	3.1 (3.2)	3.8 (3.9)	4.2 (4.3)
一般	8.5 (8.5)	16.7 (17.1)	8.9 (9.0)	5.7 (5.9)	2.8 (2.8)	1.8 (1.8)	1.9 (1.9)	1.7 (1.7)	2.0 (2.0)	3.1 (3.1)	5.9 (6.1)	12.8 (13.2)	41.4 (42.1)
その他	7.3 (7.4)	3.7 (3.7)	0.8 (0.9)	0.5 (0.5)	3.7 (3.9)	4.9 (5.0)	4.1 (4.1)	4.4 (4.5)	3.7 (3.7)	4.3 (4.4)	6.5 (6.5)	11.5 (11.8)	26.3 (27.0)
合計	51.3 (51.8)	65.6 (66.0)	26.9 (26.9)	17.5 (17.7)	17.3 (17.5)	24.7 (25.2)	25.1 (25.2)	22.3 (22.8)	21.0 (21.4)	28.6 (29.1)	43.0 (43.8)	82.2 (83.7)	197.8 (202.0)

※ ()内の数値は姫路市の数値です

5 医療機関の選定状況



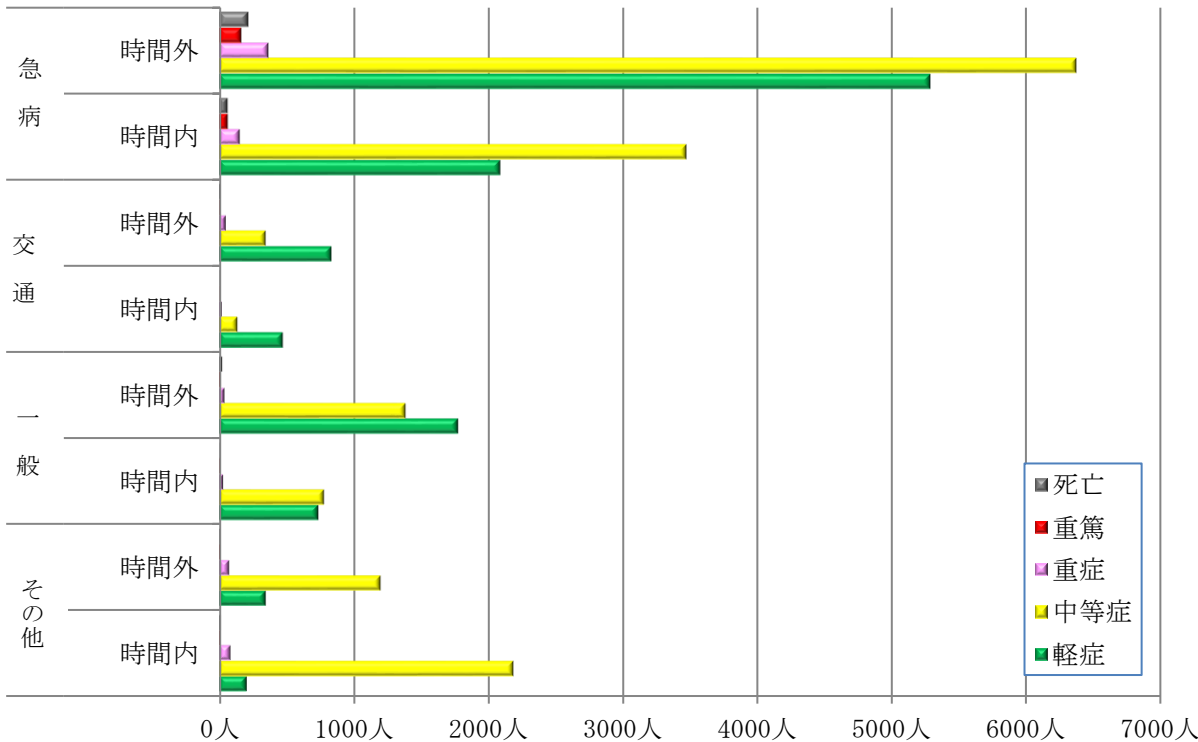
・医療機関の選定は、救急隊長の選定が最も多く、次いで医師、関係者等の順となっています。

・消防指令センター及び救急隊長選定は、最寄りの適合医療機関へ搬送することを原則に播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)、県救急医療情報システム、県個別搬送要請システム、病院群輪番制、休日夜間急病センター、二次病院などの医療情報を参考にして病院搬送を行っています。

・救急隊長選定の中には、車両端末や他隊の受け入れ状況及び収容時間等を考慮した消防指令センターとの連携も含んでいます。

6 診療時間別搬送人員

搬送人員の約63.8%が診療時間外となっています。



		合 計	死 亡	重 篤	重 症	中等症	軽 症
急 病	時間内	5,821	61	60	149	3,471	2,080
	時間外	12,369	205	154	352	6,375	5,283
交 通	時間内	631	1	1	20	137	472
	時間外	1,237	7	4	48	347	831
一 般	時間内	1,550	1	6	30	779	734
	時間外	3,225	23	11	39	1,384	1,768
その他	時間内	2,491	9	7	82	2,187	206
	時間外	1,628	5	7	71	1,199	346

※ 診療時間内とは、月～金曜日の9:00～17:00、土曜日は9:00～12:00に傷病者を医療機関へ搬送したもので、休日(年末年始を含む)と他の時間は、診療時間外に算入しています。

7 管轄外への救急搬送

	令和6年	令和5年
加西市	179 (22)	225 (38)
高砂市	293 (12)	264 (13)
加古川市	232 (68)	288 (75)
たつの市	366 (18)	347 (25)
宍粟市	124 (26)	133 (21)
神戸市	65 (40)	50 (26)
明石市	32 (12)	37 (6)
相生市	19 (9)	7 (2)
赤穂市	15 (6)	9 (2)
太子町	23 (2)	31 (2)
県外	10 (6)	14 (12)
その他	37 (19)	35 (17)
合計	1,395 (240)	1,440 (239)

()内は転院搬送の搬送者数

8 過去5年間の傷病程度構成比の推移

軽症・中等症が9割以上を占めています。



9 過去5年間の急病件数の推移

事故別で最も多い急病は、全件数の約6割を占めています。

年次 区分	令和6年		令和5年		令和4年		令和3年		令和2年	
急病件数	22,776	(1,418)	22,398	(1,482)	21,162	(1,442)	16,680	(1,137)	16,531	(1,059)
全件数	35,278	(2,179)	34,342	(2,237)	32,385	(2,170)	26,567	(1,815)	26,476	(1,707)
全件数に占める割合(%)	64.6	(65.1)	65.2	(669.2)	65.3	(66.5)	62.8	(62.6)	62.4	(62.0)
搬送人員	18,190	(1,153)	17,292	(1,145)	15,880	(1,166)	13,733	(1,019)	13,853	(932)

※ ()内の数値は受託町

10 科目別傷病程度と傷病名(急病)

診療科目別搬送人員は、脳血管障害以外の循環器科と呼吸器科の疾患が多くなっています。

区分 科目別	搬送 人員	前年数	前年比	傷病程度					傷病名		
				死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1位	2位	3位
合計	18,190	17,292	898	266	214	501	9,846	7,363	発熱 2,213	意識障害・意識消失 1,196	腹痛 1,184
構成比	100%	-	-	1.5%	1.2%	2.8%	54.1%	40.5%			
消化器科	3,142	3,109	33	-	1	40	1,675	1,426	腹痛 1,184	悪心・嘔気・嘔吐 566	吐・下血 405
循環器科	1,738	1,568	170	3	7	150	1,179	399	脳卒中 747	頭痛 303	脳梗塞 188
	4,994	4,666	328	261	192	192	2,541	1,808	意識障害・意識消失 1,196	疲労・脱力感 749	眩暈(めまい) 590
呼吸器科	4,624	4,331	293	1	10	82	2,784	1,747	発熱 2,213	呼吸困難 733	痙攣発作 420
精神科	328	298	30	-	-	4	140	184	癲癇(てんかん) 148	急性アトピー性皮膚炎・アトピー性鼻炎 105	意識障害・意識消失 24
神経科	1,629	1,549	80	-	-	8	711	910	眩暈(めまい) 365	腰痛症 311	神経痛 210
泌尿器科	577	561	16	-	-	1	267	309	尿管結石・尿路結石 266	尿閉 83	血尿 68
産婦人科	159	139	20	-	-	2	94	63	性器不正出血 37	月経痛 21	他の産婦人疾患 14
感覚器科	147	143	4	-	-	-	19	128	鼻出血 84	メニエル氏病 17	他の眼疾患 15
内分泌科	168	191	▲23	-	1	7	123	37	低血糖症 110	糖尿病 19	意識障害・意識消失 13
皮膚科	124	97	27	-	-	1	63	60	蜂窩織炎 48	蕁麻疹(じんま疹) 34	他の皮膚疾患 28
感染症	130	281	▲151	-	-	4	76	50	トラコーマ 37	インフルエンザ 36	細菌、ウイルス、その他の病原体 25
その他	430	359	71	1	3	10	174	242	熱中症 309	診断不明および原因不明の死亡 52	画像、機能検査における異常所見 48

(注) 循環器科の上段は脳血管、下段は脳血管以外です。

11 受傷部位・傷病程度と傷病名(外傷)

受傷部位は、頭部・顔面が2,794人(37.7%)、次いで下肢が1,842人(24.9%)で多く、また、傷病程度は軽症が半数以上を占めています。

区分 科目別	搬送 人員	前年数	前年比	傷病程度					傷病名		
				死亡	重篤	重症	中等症	軽症	1位	2位	3位
合計	7,403	6,913	490	29	24	183	3,102	4,065	頭部外傷 913	大腿骨骨折(非開放性) 1,468	頭部挫創・裂創等 455
構成比	100%	-	-	0.4%	0.3%	2.5%	41.9%	54.9%			
頭部顔面	2,794	2,555	239	3	2	43	655	2,091	頭部外傷 1,468	頭部挫創・裂創等 455	顔面・耳挫創・裂創等 408
下肢	1,842	1,865	▲23	-	-	47	1,266	529	大腿骨骨折(非開放性) 913	下肢打撲・圧迫 450	下腿骨骨折(非開放性) 102
頸部	207	185	22	-	-	1	24	182	頸椎捻挫 159	頭部打撲・圧迫 34	頭骨骨折(非開放性) 4
上肢	959	920	39	-	-	14	356	589	上肢打撲・圧迫 249	上肢挫創・裂創等 137	上肢の切創 95
胸部	356	265	91	-	1	14	139	202	胸部打撲・圧迫 297	鎖骨骨折(非開放性) 33	気胸・血胸 13
腰部臀部	222	209	13	-	-	10	119	93	臀部打撲・圧迫 174	骨盤骨折(非開放性) 27	ギックリ腰、椎間板ヘルニア 8
背部	317	268	49	-	-	2	158	157	背部打撲・圧迫 312	背部挫創・裂創等 1	背部表在損傷(擦過傷) 1
全身	37	40	▲3	3	2	12	17	3	全身打撲骨折 32	全身軽症熱傷 3	全身中等症熱傷 2
腹部	90	72	18	-	-	8	38	44	腹部打撲・圧迫 61	腹腔内臓器損傷(破裂を除く) 14	腹部の刺創 9
体幹部	223	224	▲1	-	-	14	198	11	体幹部骨折(非開放性) 183	頸髓損傷 36	胸髓損傷 2
その他	356	310	46	23	19	18	132	164	咽・喉頭異物 65	その他(肋骨等)の非開放性骨折 44	食道・胃異物 26

12 発生場所別傷病程度(交通事故)

交通事故での出場は、一般道路上が圧倒的に多く、1,456人(77.9%)となっています。

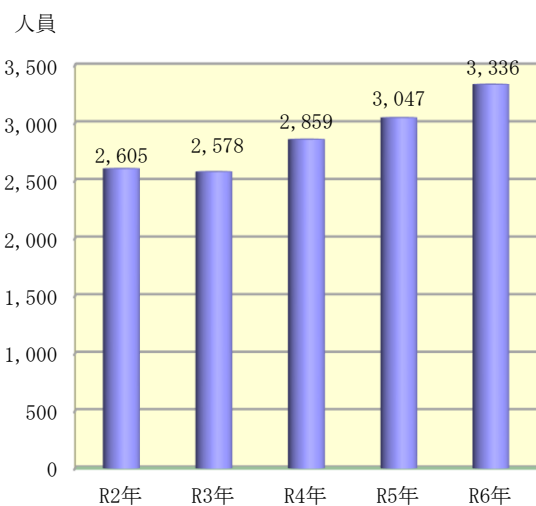
発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	国 道 2 号	国 道 250 号	国 道 312 号	姫 路 バ イ パ ス	播 但 連 絡 道	山 陽 自 動 車 道	中 国 自 動 車 道	国 道 29 号	国 道 372 号	一 般 道 路	そ の 他 の 場 所
搬 送 人 員	1,868	1,797	71	53	58	57	51	12	18	3	15	16	1,456	129
前 年 数	1,797	1,768	-	74	62	54	30	5	9	4	22	26	1,367	144
前 年 比	71	29	-	▲ 21	▲ 4	3	21	7	9	▲ 1	▲ 7	▲ 10	89	▲ 15
死 亡	8	12	▲ 4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	3
重 篤	5	16	▲ 11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-
重 症	68	53	15	2	1	1	2	4	1	1	2	-	49	5
中 等 症	484	407	77	14	16	13	16	1	6	2	5	6	368	37
軽 症	1,303	1,309	▲ 6	37	41	42	33	7	11	-	7	10	1,031	84

13 発生場所別傷病程度(一般負傷)

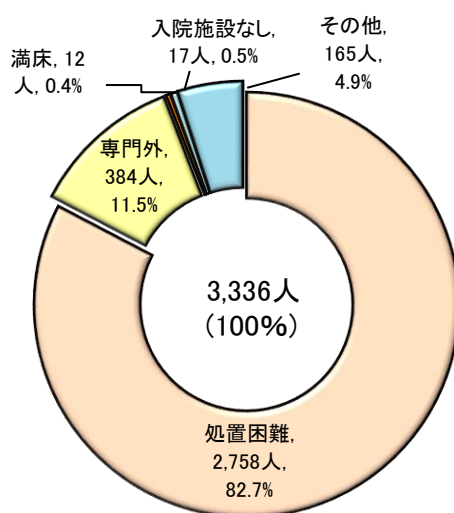
一般負傷での出場は、一般住宅が最も多く、次いで道路上となっています。

発生場所 区分	合 計	前 年 数	前 年 比	一 般 住 宅	共 同 住 宅	道 路 上	店 舗 ホ テ ル	福 祉 施 設	学 校	駅 停 留 所	仕 事 場	病 院	屋 内 ・ 屋 外 其 他	そ の 他
搬 送 人 員	4,775	4,410	365	2,254	523	652	299	446	84	57	47	17	345	51
前 年 数	4,410	4,410	-	2,069	503	601	272	392	56	65	47	26	343	36
前 年 比	365	253	-	185	20	51	27	54	28	▲ 8	-	▲ 9	2	15
死 亡	24	17	7	14	1	1	-	6	-	-	-	-	1	1
重 篤	17	17	-	8	1	-	1	7	-	-	-	-	-	-
重 症	69	68	1	34	5	3	1	11	1	1	2	-	6	5
中 等 症	2,163	1,924	239	1,163	242	180	93	311	16	14	14	8	105	17
軽 症	2,502	2,384	118	1,035	274	468	204	111	67	42	31	9	233	28

14 過去5年間の転院搬送人員の推移

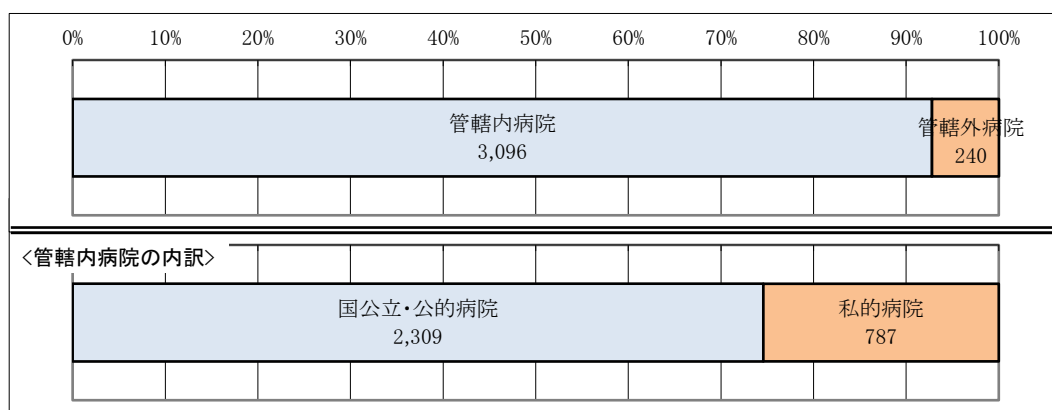


15 転院の理由



16 転院医療機関

転院先の約90%が管轄内病院となっています。



17 管轄外・県外の転院医療機関

医療機関名	搬送人員
市立加西病院	20
加古川中央市民病院	38
公立宍粟総合病院	26
県立加古川医療センター	22
県立こども病院	20
神戸大学医学部附属病院	7
順心病院	7
高砂西部病院	8
岡山大学医学部附属病院	1
高砂市民病院	4
たつの市民病院	11
明石医療センター	6
西脇市立西脇病院	4
その他	66
合計	240

転院に要した最長時間は4時間54分、最長距離は208.1kmです。

このことは、転院出場している救急車受持区域において、次の救急が発生した場合、最も近い救急隊の現場への到着が遅れる一因となっています。

18 隊員の行った応急処置の状況

救急隊員は、全搬送人員28,952人中の約99.98%にあたる28,947人に対し、応急処置を実施しています。

事故種別	合計	急病	交通事故	一般負傷	その他
応急処置割合	99.98%	99.99%	100.00%	99.98%	99.95%
搬送人員	28,952	18,190	1,868	4,775	4,119
対象人員	28,947	18,188	1,868	4,774	4,117

19 応急処置実施状況

区 分		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
止 血		892	121	134	549	88
固 定		1,076	29	535	368	144
人 工 呼 吸		180	151	2	16	11
胸 骨 圧 迫		50	47	-	2	1
心 肺 蘇 生		521	449	11	39	22
酸 素 吸 入		4,591	3,252	107	196	1,036
気道確保(特定行為以外)		771	649	19	61	42
保 温		887	585	80	107	115
被 覆		2,241	119	502	1,396	224
在 宅 療 法		197	176	1	20	-
除 細 動		43	41	1	-	1
そ の 他		41,843	28,040	2,487	6,548	4,768
特定行為	気 道 確 保 (うち気管挿管)	416	366	7	29	14
		22	11	-	11	-
	アドレナリン投与	148	125	5	12	6
	輸 液 (うち心肺停止前輸液)	438	384	12	21	21
		134	116	6	4	8
	血 糖 測 定	548	527	5	13	3
	ブドウ糖 投与	74	74	-	-	-
合 計		54,916	35,135	3,908	9,377	6,496

※ 実施数(特定行為を除く)は、現場及び車内処置の合計です。
特定行為については、実施対象者数です。

20 救急資器材使用状況

使 用 資 器 材 名(観察)	使用回数	使 用 資 器 材 名(処置)	使用回数
パルスオキシメーター	33,147	毛 布	1,046
聴 診 器	9,574	酸 素 吸 入 器	8,995
心 電 計	23,690	ガ ー ゼ	2,629
血 圧 計	32,190	頸 部 固 定 具	832
瞳 孔 点 眼 灯	15,313	三 角 巾	129
体 温 計	32,891	バ ッ グ バ ル ブ マ ス ク	625
触 診	33,378	絆 創 膏	164
呼 気 炭 酸 ガ ス 測 定 器	362	自 動 体 外 式 除 細 動 器	714
		食 道 閉 鎖 式 エ ア ウ ェ イ	404
		吸 引 器	353
		頸 椎 脊 椎 固 定 用 具	445
		酸 素 吸 入 用 マ ス ク	8,995
		輸 液 セ ッ ト	517
		副 子	127
		人 工 呼 吸 器	209
		包 帯 類	1,042
		喉 頭 鏡	57
		そ の 他	17,604
合 計	180,545	合 計	44,887

21 搬送体位別搬送人員

体位区分	搬送人員	体位区分	搬送人員	体位区分	搬送人員
仰 臥 位	13,314	頭 側 高 位	401	足 側 高 位	285
座 位	13,223	抱 き か か え	762	腹 臥 位	25
側 臥 位	821	膝 屈 曲 位	42	そ の 他	79
				合 計	28,952

22 救命率

救急隊が搬送した心肺停止患者530人中、生存者は35人で、うち15人が社会復帰されています。

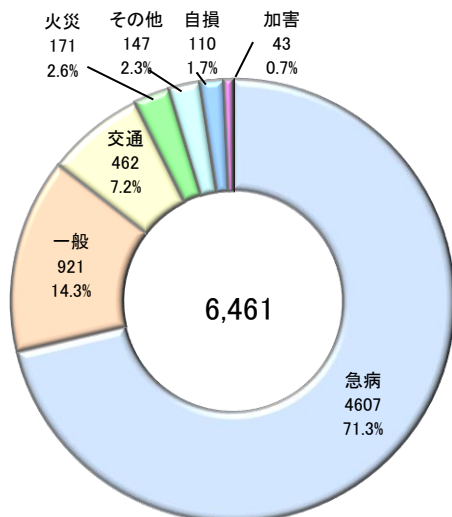
区 分		合計	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	転院
救 急 隊 に よ る 心肺停止患者搬送者数		530	—	—	1	11	4	—	40	1	16	457	—
上 記 の う ち 市 民 に よ る 心肺蘇生法実施者数		249	—	—	—	2	3	—	22	—	6	216	—
1 日 以 上 7 日 未 満 生 存		11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	—
7 日 以 上 30 日 未 満 生 存		10	—	—	—	—	—	—	2	—	—	8	—
30 日 以 上 生 存		35	—	—	—	1	1	—	2	—	—	31	—
30日以上生存の内、社会復帰		15	—	—	—	1	1	—	—	—	—	13	—
発 生 場 所	個 人 住 宅	305	—	—	—	—	—	—	21	—	8	276	—
	共 同 住 宅	55	—	—	—	—	—	—	2	1	4	48	—
	福 祉 施 設 等	102	—	—	—	—	—	—	13	—	2	87	—
	一 般 道 ・ 高 速 道	20	—	—	—	8	—	—	1	—	—	11	—
	その他の屋外・屋内	4	—	—	—	2	—	—	—	—	—	2	—
	ホテル・デパート等	17	—	—	—	—	—	—	1	—	1	15	—
	工 場 ・ 作 業 場 等	11	—	—	—	—	4	—	—	—	1	6	—
	病 院 ・ 診 療 所 等	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—
	J R 姫 路 駅 ・ 構 内	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	デ モ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	広場・遊園地・空地等	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	山・川・池・海等	2	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
	そ の 他	8	—	—	—	1	—	—	1	—	—	6	—
年 齢	3歳 未 満	5	—	—	—	1	—	—	1	—	—	3	—
	4 ～ 6歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7 ～ 15歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	16 ～ 19歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	20 ～ 29歳	7	—	—	1	—	1	—	1	—	3	1	—
	30 ～ 39歳	2	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—
	40 ～ 49歳	17	—	—	—	1	1	—	—	—	4	11	—
	50 ～ 59歳	39	—	—	—	2	—	—	1	—	3	33	—
	60 ～ 69歳	54	—	—	—	1	—	—	1	—	2	50	—
	70 ～ 79歳	129	—	—	—	1	1	—	14	—	3	110	—
	80 ～ 89歳	193	—	—	—	4	—	—	14	—	—	175	—
	90歳 以 上	83	—	—	—	1	—	—	8	1	1	72	—

※ 市民処置は、傷病者の側にいた人が心肺蘇生法、または胸骨圧迫を実施した数です。

※ 生存者は、30日以上生存されている方です。

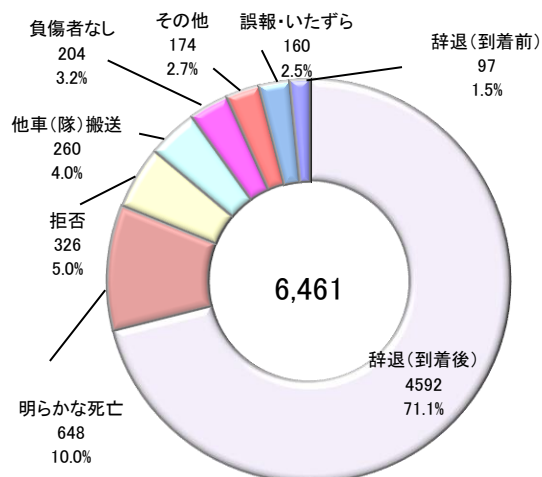
23 不搬送状況

出場件数35,278件に対する不搬送件数は6,461件(18.3%)です。



24 不搬送理由

不搬送理由のうち辞退及び拒否については、慎重な観察を行う必要があります。



25 過去5年間の傷病者の推移

年次 傷病区分	令和 6年	令和 5年	令和 4年	令和 3年	令和 2年
総 計	28,952	27,250	25,370	22,249	22,561
外傷性（合計）	7,403	6,913	6,641	6,010	6,116
開放創傷	1,341	1,300	1,226	1,171	1,215
開放性骨折	57	64	62	57	56
非開放性骨折	1,619	1,606	1,569	1,351	1,258
表在損傷	84	96	64	79	82
頭部外傷等	1,691	1,489	1,415	1,200	1,060
打撲・捻挫	2,125	1,926	1,896	1,738	2,082
切断創	21	24	20	20	18
熱 傷	96	85	75	78	81
異 物	175	141	126	130	128
咬 傷	79	77	66	68	73
そ の 他	115	105	122	118	63
非外傷性（合計）	21,549	20,337	18,729	16,239	16,445
循環器系	7,882	7,377	7,104	6,428	6,595
脳血管障害	1,566	1,470	1,362	1,263	1,192
心 疾 患	1,633	1,574	1,515	1,423	1,475
血液・造血器	47	34	33	25	55
新 生 物	37	24	26	23	20
診断名不明確	4,341	4,059	3,931	3,460	3,615
そ の 他	258	216	237	234	238
呼吸器系	5,288	4,866	3,731	3,398	3,388
上 気 道	64	56	53	41	53
喘 息	103	75	69	60	61
肺 炎	730	614	470	474	537
新 生 物	70	84	69	72	70
診断名不明確	3,364	3,069	2,281	2,061	1,990
そ の 他	957	968	789	690	677
消化器系	3,810	3,707	3,308	2,914	3,006
胃・十二指腸	156	189	159	171	196
腸・下部消化管	2,229	2,152	1,954	1,686	1,650
肝 ・ 胆	267	208	223	207	208
新 生 物	104	124	109	97	120
診断名不明確	874	842	680	600	673
そ の 他	180	192	183	153	159
神経系	1,702	1,659	1,339	1,298	1,455
中 毒	131	149	112	110	113
自律神経	21	19	12	13	18
腰 痛	357	414	320	304	336
中枢神経	63	47	33	34	25
そ の 他	1,130	1,030	862	837	963

年次 傷病区分	令和 6年	令和 5年	令和 4年	令和 3年	令和 2年
精 神 系	351	327	284	311	391
アルコール中毒	106	90	66	76	147
神 経 症	1	4	6	2	8
そ う う つ	11	12	7	9	12
そ の 他	233	221	205	224	224
泌尿器系	703	654	637	602	580
腎炎・腎不全	106	98	117	101	114
結 石	295	293	262	291	227
前 立 腺	2	5	2	3	6
新 生 物	18	21	24	17	26
そ の 他	282	237	232	190	207
産 婦 人 系	302	266	279	240	247
分 娩	50	37	50	34	39
分娩疾患	46	47	64	45	44
妊娠・流産	38	42	34	34	34
月経・生殖器	86	70	56	65	63
出 産 児	11	10	12	8	13
新 生 物	25	24	26	20	16
そ の 他	46	36	37	34	38
感覚器系	162	154	135	149	140
眼 球	34	22	26	15	18
耳 鼻	128	132	109	134	122
そ の 他	-	-	-	-	-
内 分 泌 系	180	206	183	178	175
甲 状 腺	1	5	3	2	2
糖 尿 病	141	160	141	144	141
新 生 物	-	8	3	2	3
そ の 他	38	33	36	30	29
感染系	195	352	1,075	349	151
第四類感染症	45	46	1	-	18
食 品	2	-	-	-	5
結 核	5	1	4	3	7
そ の 他	143	305	1,070	346	121
皮膚系	149	111	101	97	90
皮下組織	74	51	36	42	43
新 生 物	1	3	2	3	1
そ の 他	74	57	63	52	46
筋骨格系	188	146	127	115	-
筋骨格系疾患	184	142	123	107	-
新 生 物	4	4	4	8	-
そ の 他	637	512	426	160	227
熱 中 症	370	308	242	151	227
他の新生物	1	1	2	2	-
その他の分類	266	203	182	7	-

26 市民処置状況

実施者区分 応急処置区分	合 計	本人・ 家族	医療 従事 者	知人・ 同僚	職員・ 団員	教職員	警察官	実施 者 不明	その他	加害者
C P R	23	9	6	4	—	—	—	—	4	—
胸 骨 圧 迫	267	139	39	15	2	—	4	1	66	1
人 工 呼 吸	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
気 道 確 保	8	1	2	2	—	—	—	—	3	—
創傷・緊縛処置	53	30	—	8	—	1	1	3	9	1
移動体位管理	35	25	—	3	—	1	1	—	5	—
除 細 動	8	—	1	4	—	—	—	—	3	—
固 定 処 置	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
保 温	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
そ の 他	28	17	2	5	—	—	—	1	3	—
合 計	425	221	51	42	2	3	6	5	93	2

※ 救命率向上のためには、救急隊が現場到着するまでの間に付近の人が行う応急手当が最も重要です。
 ※ 市民処置が実施されていたが不搬送となった事案も含まれます。

27 救急救命士の特定行為等実施状況の推移

区分 年次	特定行為の指示を 受けた患者		気道確保	静脈路確保		アドレナリン 投与	除細動	血糖 測定	ブドウ糖 投与
	心肺停止	拡大2行為							
令和6年	518	175	416(22)	438	(134)	148	43	548	74
令和5年	505	157	383(11)	395	(116)	156	44	423	69
令和4年	489	142	381(12)	380	(104)	168	77	337	41
令和3年	511	126	403(11)	384	(88)	172	50	247	31
令和2年	530	128	423(18)	405	(85)	186	40	212	44

※ 気道確保の()内は気管挿管、静脈路確保の()内は心肺停止前静脈路確保実施数です。
 平成28年より、救急救命士による心肺停止前静脈路確保及び輸液、血糖測定、ブドウ糖投与の運用を開始しました。

付 表

救 急 関 連 業 務

1 救急体制

(1) 救急出場体制

救急隊の運用は、高機能消防指令システムにより、救急事案の覚知と同時に最寄りの救急隊が自動的に選定され出場します。通常の救急隊運用で対応できない集団災害などが発生したときは、「集団災害対応マニュアル」により、出場を行います。

(2) 救急隊

救急隊は、救急自動車1台と、原則として救急隊員3人以上をもって編成し、救急自動車には搬送に適した設備と救急業務を行う上で必要な資器材を装備しています。

ア 救急隊員

救急業務は、傷病者の状態によっては直接生命にかかわる応急処置を必要とすることがあり、救急隊員には傷病者の救護に当たって専門的な知識と技術が要求されるため、昭和53年11月1日「消防法施行令」の一部改正により、自治省令に定める講習の修了者をもって運用していましたが、平成3年8月5日「救急隊員の行う応急処置等の基準」の一部改正及び平成3年8月15日「救急救命士法」の施行により、救急救命士の資格を有する者、救急Ⅱ課程・救急標準課程・救急科を修了した救急隊員をもって行っています。

なお、救急隊員に対する教育訓練及び救急救命士の養成等を計画的に実施するとともに、気管挿管、薬剤投与等を実施できる認定救急救命士の養成を進め、救命率の向上に努めています。

救急標準課程修了者(救急Ⅱ課程等含)	414
救急救命士(厚生労働大臣)	157
気管挿管認定救急救命士	72
ビデオ喉頭鏡挿管認定救急救命士	64
薬剤認定救急救命士	134
拡大二行為認定救急救命士	132

(令和6年12月31日現在)

イ 救急自動車積載資器材

観 察 用	体温計		保 温 ・ 搬 送 用	担 架	モンディアルストレッチャー
	瞳孔点眼灯				レスキューシート
	血圧計				バックボード(全脊柱固定用担架)
	心電計				スクープストレッチャー
	聴診器			敷物・まくら	
	患者監視装置			保温用毛布	
	パルスオキシメーター			救急アルミックシート	
	血糖測定器			消 毒 用	オゾン除染システム
呼 吸 ・ 循 環 管 理 用	自動式人工呼吸器		救 出 用	各種消毒薬	
	バッグバルブマスク			ウインドポンチ・ガラスカッター	
	加湿流量計付酸素吸入装置			万能斧・バール・クリッパー	
	電動式吸引器			シートベルトカッター	
	呼気炭酸ガス濃度測定器		救命綱・救命浮環		
	口腔エアウェイ・経鼻エアウェイ		通 信 用	車載無線機	
	喉頭鏡			携帯電話(スマートフォン・従来型)	
	マギール鉗子			車両運用端末装置	
	モニタ内蔵型ビデオ喉頭鏡			タブレット端末(iPad)	
	酸素ボンベ		そ の 他 の 資 器 材	在宅療法継続用資器材	
	自動体外式除細動器			汚物入	
	食道閉鎖式エアウェイ			膿盆	
	気管挿管チューブ			産科救急セット	
	三方活栓付き輸液セット			感染防止衣	
	薬剤(アドレナリン・ブドウ糖)			感染防止手袋	
創 傷 等 保 護 用	副 子	陰圧副子		救急かばん等	
		頸部固定副子		サージカルマスク・N95マスク	
	滅菌ガーゼ・不織布ガーゼ		強力ライト		
	三角巾・包帯類		電動リングカッター		
	止血帯		LEDベスト		

2 医療体制(令和4年12月31日現在)

(1) 救急告示医療機関

昭和38年の救急業務の法制化に伴い、救急隊により搬送される傷病者に関する医療を確保することを趣旨とした「救急病院等を定める省令」(S39.2厚生省令第8号)に基づき、知事が告示した管内の医療機関は、次の救急病院22医療機関です。なお、救急病院等の認定は、昭和62年2月から3年毎の更新制となっています。

救 急 告 示 医 療 機 関

(令和6年12月31日現在)

No.	区分 医療機関名	所在地 (姫 路 市)	標 傍 科 目	病床数	電 話
1	医療法人会 仁寿川病院	別所町別所二丁目150	内、呼内、外、心外、血外、肛外、ペイン内、整、リウマチ、脳外、耳、リハビリ、泌、放	206	252-5235
2	井野病院	大塩町汐咲一丁目27	内、外、整、眼、小、消内、循内、呼内、糖内、肝胆膵内、神内、人工透析内、リウマチ、放、リハビリ、婦人、耳、皮	100	254-5553
3	社会医療法人会 松藤入江病院	飾磨区英賀春日町二丁目25	内、消内、循内、腎内、外、整、脳外、リハビリ、泌、麻、人工透析内、糖内、乳外、消外、大・肛外	199	239-3121
4	金田病院	夢前町前之庄2934-1	内、循内、呼内、消内、整、リハビリ、心内	52	336-0016
5	國富胃腸病院	青山三丁目33-1	内、胃腸内、外、整、リハビリ、老内、緩内、放、麻	230	266-2355
6	医療法人社団 綱島厚生病院	御立西四丁目1-25	内、神内、呼内、消内、循内、眼、リハビリ、放、精、皮、胃腸内	88	292-1109
7	医療法人社団 みどりの会 酒井病院	飾西412-1	外、内、整、消外、脳、泌、リウマチ、人工透析内、リハビリ	112	266-8833
8	社会医療法人会 三栄三栄会広畑病院	広畑区夢前町3丁目1番地	内、消内、整、眼、人工透析内、人工透析外、腎内、神内、脳外、循内、リハビリ、放	130	230-0008
9	城陽江尻病院	北条一丁目279	内、外、呼内、呼外、放、整、眼、リハビリ、形、泌、循脂内、消内・消外、糖代内、内分泌内、腎内、内視内、人工透析内	157	225-1231
10	神野病院	飾磨区下野田二丁目533番地3	整、内、外、リウマチ、リハビリ、形、放、麻	103	235-5501
11	医療法人社団 光風長久病院	広畑区小松町二丁目66-1	脳外、循内、脳内、心内、外、老精、リハビリ、放、麻、消内、脊椎外科、糖内	50	237-5252
12	社会医療法人会 三ツカザキ病院	網干区和久68-1	脳外、整、心外、脳内、眼、リハビリ、放、循内、外、乳外、内、人工透析内、消内、消外、呼外、麻、泌、呼内、感内、糖内、救、形、病理、小	406	272-8555
13	医療法人会 ひまわり八家病院	西今宿二丁目9-50	整、脳外、脳内、リハビリ、麻、ペ外、リウマチ、内、外、胃腸内、心内、歯、矯正歯、小児歯、歯口腔外	111	298-1731

救 急 告 示 医 療 機 関

(令和6年12月31日現在)

No.	区分 医療機関名	所 在 地 (姫 路 市)	標 榜 科 目	病床数	電 話
14	独立行政法人 国立病院機構 姫路医療センター	本町68	内、精神、呼内、消内、循内、小、 外、消外、乳外、整、形、脳外、呼 外、皮、泌、婦、眼、耳、リウマチ、リハビ リ、放診、放治、麻、救、糖内、頭頸 外、緩内、病理、血内	405	225-3211
15	姫路愛和病院	飯田3丁目219-1	内、消内、循内、糖内、外、肛外、 整、リウマチ、リハビリ、放、呼内、呼外、 麻	108	234-2117
16	姫路聖マリア病院	仁豊野650	内、呼内、消内、消・肝内、循内、緩 内、腎内、神内、人工透析内、外、乳 外、消外、大腸・肛門外、内視鏡外、 アレ、小外、形、整、小、皮、泌、産婦、 眼、耳、リハビリ、放、病理、救、麻	440	265-5111
17	姫路赤十字病院	下手野一丁目12-1	内、消内、血管腫瘍内、肝内、腎内、 糖内分内、呼内、循内、小、小外、 外、乳外、消外、呼外、心外、整、 形、脳外、皮、泌、産婦、眼、耳鼻咽 喉頭頸部、放診、放治、リハビリ、麻、 緩内、化内、歯、歯口外、病、臨	560	294-2251
18	医療法人 松浦会 姫路第一病院	御国野町国分寺143	外、内、整、脳外、リハビリ、消内、小、 血外、循内、消外	100	252-0581
19	医療法人社団 普門会 姫路田中病院	書写717	整、リウマチ、内、外、人工透析内、リハビ リ、麻、泌、皮	98	267-2020
20	医療法人 公仁会 姫路中央病院	飾磨区三宅二丁目36	神内、外、脳外、消内、整、消外、 麻、内、循内、放、乳外、肛外、リハビ リ、病理、救	235	235-7331
21	兵庫県立 はりま姫路 総合医療センター	神屋町三丁目264	内、呼内、消内、循内、腎内、脳内、血 液内、糖内分内、緩内、感内、腫瘍内、 外、呼外、消外、心外、脳外、乳外、小 外、整、形、精神、リウマチ、小、皮、泌、 産婦、眼、耳、頭頸部外、リハビリ、放診、 放治、麻、病理、救、歯科口腔外	736	289-5080
22	公立神崎総合病院	神崎郡神河町 栗賀町385番地	内、呼内、循内、外、胃腸外、整、 眼、麻、リハビリ、産婦、血外、脳外、 小、耳、皮、泌、精神、心内、歯	140	0790-32-1331

(2) 一般医療機関と救急医療

「救急病院等を定める省令」第1条ただし書きは、「疾病又は負傷の程度が軽易であると診断された傷病者及び直ちに応急的な診療を受ける必要があると認められた傷病者に関する医療を担当する医療機関は、病院又は診療所とする」と定め、傷病者を診察する医療機関は必ずしも救急告示医療機関とは限りません。

(3) 兵庫県立はりま姫路総合医療センター(救命救急センター)

ア 開設年月日 令和4年5月1日

イ 場 所 姫路市神屋町三丁目264

ウ 診療科目 総合内科、循環器内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科、消化器内科、腎臓内科
呼吸器内科、腫瘍・血液内科、膠原病リウマチ内科、感染症内科、緩和ケア内科
外科・消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科
形成外科、歯科口腔外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科頭頸部外科、
放射線診断・IVR科、放射線治療科、リハビリテーション科、病理診断科、救急科
精神科、麻酔科・ペインクリニック科、産婦人科、小児科、小児外科

兵庫県立はりま姫路総合医療センターへの選定者別・程度別搬送人員

程度別 選定者	合計	前年数	前年比	死亡	重篤	重症	中等症	軽症
隊長選定	4,385	3,494	891	67	98	350	2,642	1,228
消防指令センター選定	8	5	3	3	4	－	1	－
医師選定	1,282	1,166	116	2	3	61	1,173	43
関係者依頼	190	178	12	－	－	3	164	23
その他	2	6	▲ 4	－	－	－	2	－
合計	5,867	4,849	1,018	72	105	414	3,982	1,294

(4) 姫路市休日・夜間急病センター

- ア 開設年月日 昭和54年2月15日
- イ 場 所 姫路市西今宿三丁目7番21号
- ウ 診療科目 休日……内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
夜間……内科・小児科
(姫路市医師会の医師が輪番で出務している。)
- エ 診療時間 休日……9時～18時(日曜・祝日(振替日含む)及びお盆、年末年始)
夜間……21時～翌6時(年中無休)
- オ 開設者 姫路市長 (管理者 一般社団法人姫路市医師会会長)

急病センターの二次後送病院

内 科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・井野病院・酒井病院・城陽江尻病院 入江病院・姫路第一病院・愛和病院・厚生病院
外 科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・ツカザキ病院 兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路中央病院・石川病院・酒井病院 姫路第一病院・入江病院
小児科	姫路赤十字病院・姫路聖マリア病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター
耳鼻咽喉科	姫路医療センター・姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター 姫路聖マリア病院・加古川中央市民病院
眼 科	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路赤十字病院・加古川中央市民病院 兵庫県立加古川医療センター・高砂市民病院・ツカザキ病院

月 別 搬 送 状 況

月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人 員	184	17	18	17	10	18	16	22	18	12	4	7	25

(5) 脳神経外科輪番制

- ア 開設年月日 昭和57年8月1日
- イ 輪番群 ツカザキ病院・姫路赤十字病院・姫路中央病院
兵庫県立はりま姫路総合医療センター・長久病院

月 別 搬 送 状 況

月 別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人 員	5,227	476	425	416	409	452	400	452	413	355	486	455	488

参考 診療科目が脳神経外科である傷病者の大多数は、これらの輪番群への搬送です。

(6) 整形外科輪番制

- ア 開設年月日 平成6年4月1日
- イ 輪番群 姫路赤十字病院・神野病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター
姫路聖マリア病院・姫路医療センター・ツカザキ病院
石川病院・加藤整形外科・入江病院・八家病院・姫路田中病院
- ウ 在宅輪番 (平成19年4月より日曜昼間)
竹村整形外科医院・井上外科整形外科・かしもと整形外科医院
柴田整形外科クリニック・栗原整形外科・あさの整形外科
段医院・戸谷整形外科・平野整形外科・みやもと診療所
ひまわり整形外科・和田整形外科クリニック・姫路田中病院
吉田整形外科・福島整形外科・長久整形外科・日野整形外科・高祖整形外科
阿保クリニック・三輪整形外科・八家病院

(7) 循環器科輪番制

- ア 開設年月日 平成11年6月1日
- イ 輪番群 ツカザキ病院・姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター

(8) 産婦人科輪番制

- ア 開設年月日 平成17年4月1日
- イ 輪番群 姫路赤十字病院・兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院
おおたレディースクリニック・小国病院・親愛産婦人科・立岩産婦人科医院
西川産婦人科・中林産婦人科クリニック

(9) 姫路市休日歯科診療所(歯科医師会口腔保健センター)

- ア 開設年月日 昭和62年12月30日
- イ 場 所 姫路市安田三丁目107
- ウ 診療時間 休日9時30分～12時
(日曜・祝日(振替日含む)及びお盆、年末年始)
- エ 診療体制 歯科医師1人、歯科衛生士2人、事務員1人
(ゴールデンウィーク、年末年始は増員)
- オ 診療体制 急患のみ(応急処置を行う)
- カ 開設者 一般社団法人 姫路市歯科医師会

3 応急救護知識の普及

傷病者を救急隊や医師の手にゆだねるまでの間に、傷病の状態を更に悪化させないため、応急手当の知識、技術を市民に対して広く普及する必要があります。

応急手当は早く適切に行うことが大切で、特に心肺停止患者に対しては、付近にいる人により心肺蘇生法(CPR)が行われることで救命率が大きく向上します。

また、大規模災害など同時多数の傷病者が発生した場合を想定し、応急手当を自主防災組織、企業等に普及していく必要があります。

令和2年からは新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、救急講習・受講者数が減少していましたが、5類へ移行した令和5年から講習会数及び受講者は増加傾向にあります。

また講習毎に、救急車の適正利用を市民に呼びかけています。

(1) 過去5年間ににおける講習回数と受講者数

年別 区分	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年
受講者数	5,625	5,044	3,313	1,840	2,807
講習回数	284	280	152	110	135

新型コロナウイルスの影響により受講回数(人数)が減少しています。

(2) 対象と講習内容

対 象 種 別	回 数	講 習 内 容	回 数	人 数
総 数	284	総 数	284	5,625
事 業 所	88	応急手当指導員講習 (24時間)	5	66
P T A	10	応急手当普及員講習 (24時間)	2	27
学校教職員	49	上級救命講習 (8時間)	2	31
団体・グループ	26	普通救命講習 (3時間)	119	1,649
自治会・自主防災組織	15	救急講習	156	3,852
小・中 学 生	8			
高 校 生	11			
スポーツ施設	7			
官公庁職員	14			
社会福祉関係	20			
一般市民等	36			

4 各研修実施状況(令和6年4月～令和7年3月)

(1) 病院実習等

	人 数	時間(延べ)	病 院 名
就業前実習 (薬剤実習含む)	9 人	1,440 時間	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路医療センター 姫路赤十字病院
再教育実習	306 人(延べ)	5,569 時間	兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路医療センター 姫路聖マリア病院・姫路中央病院・公立神崎総合病院 兵庫県立災害医療センター・兵庫県立加古川医療センター
挿管実習	6 人		兵庫県立はりま姫路総合医療センター・姫路聖マリア病院 ツカザキ病院
ビデオ喉頭鏡実習	4 人		兵庫県立はりま姫路総合医療センター

研 修 名	参加人数 (延べ)	日 付 ・ 開 催 場 所
近畿救急隊員部会	23	5/24和歌山市、7/20大阪市 11/29京都市、3/20米原市
第15回姫路市救急医療フォーラム	7	9/8 姫路市
第33回全国救急隊員シンポジウム	3	11/21・22 秋田市

(3) 研修会発表

演 者	演 題 名	研 修 名	日付・場所
奥見 和昌	人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊基本的活動プロトコルについて	西播民間病院協会	6/13 姫路市
習田 良輔	播磨姫路救急搬送システムについて	西播民間病院協会	6/13 姫路市
表 祥史	救急車の適正利用で地域を守る ～あなたができること～	第15回姫路市救急医療フォーラム	9/8 姫路市
奥見 和昌	人生の最終段階にあり心肺蘇生を望まない心肺停止傷病者への救急隊基本的活動プロトコルについて	姫路市西播介護サービス事業者 連絡協議会研修会	11/22 姫路市
岡村 憲	能登半島地震活動報告 消防・救急の立場から	保健・医療関係者に対する 災害時における基礎情報処理訓練	12/1 姫路市
奥見 和昌	老人福祉施設連盟向けDNARプロトコルについて	令和6年度姫路市老人福祉連盟研修会	1/23 姫路市
奥見 和昌	DNARプロトコル運用後について	第55回在宅医療勉強会	2/19姫路市

5 事後検証委員会実施状況

(1) 検証委員会の開催状況 【検証対象期間: 令和5年10月1日～令和6年11月30日】
(姫路市消防局)

	開催日	検証対象期間
令和6年度 第1回	令和6年4月23日	R5.10.1 ～ R6.1.31
令和6年度 第2回	令和6年6月25日	R6.2.1 ～ R6.3.31
令和6年度 第3回	令和6年8月27日	R6.4.1 ～ R6.5.31
令和6年度 第4回	令和6年10月31日	R6.6.1 ～ R6.7.31
令和6年度 第5回	中止	-
令和6年度 第6回	令和7年2月10日	R6.8.1 ～ R6.11.30

(2) 検証結果 【検証対象期間: 令和5年10月1日～令和6年11月30日】

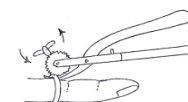
姫路市消防局	合計	割合	内 訳						
			CPA	重症	ブドウ糖	ショック	クラッシュ	その他	エピペン
全症例数	835	100.0%	611	24	103	90	1	3	3
推奨(事例研究)	7	0.8%	4	—	—	2	—	1	—
標準	806	96.5%	595	23	102	82	1	—	3
署等で確認	16	1.9%	9	1	—	5	—	1	—
要改善	2	0.2%	1	—	—	1	—	—	—
稀・参考症例	4	0.5%	2	—	1	—	—	1	—

6 家島町における救急発生状況

年	出動状況			患者搬送船				ヘリ 搬送	救急車 引継ぎ
	家島	坊勢	小計	救急艇	坊勢渡船	その他	小計		
令和5年	264	122	334	271	7	5	283	13	283
令和6年	284	92	376	295	6	3	304	12	304
前年比	20	▲ 30	42	24	▲ 1	-2	21	▲ 1	21

7 指輪切断(リングカッター)使用状況

	合計		10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		90代 以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
本 部	2	4			2	1		2		1										
姫路東	1	15				3		1		3	1		4		3		1			
姫路西	4	10				1	1	1	3	1		2	3		1		1			
飾 磨	1	14					1	3		1		4	2				3			1
網 干	1	4						1		2	1	1								
中 播	1	7						2	1	1		1	1		1		1			
合 計		64		0		7		12		13		10		10		5		6		1



8 PA出動件数

令和6年中のPA出動(飾東出張所及び大的出張所管内)の出動件数は107件でした。
救急隊の出場現着平均時間は9分38秒、ポンプ隊の出場現着平均時間は3分51秒、救急隊とポンプ隊の差の平均時間は5分47秒でした。

	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
谷内校区	7	2	5	0	14
大塩校区	31	8	11	6	56
的形校区	22	4	10	1	37
合計	60	14	26	7	107

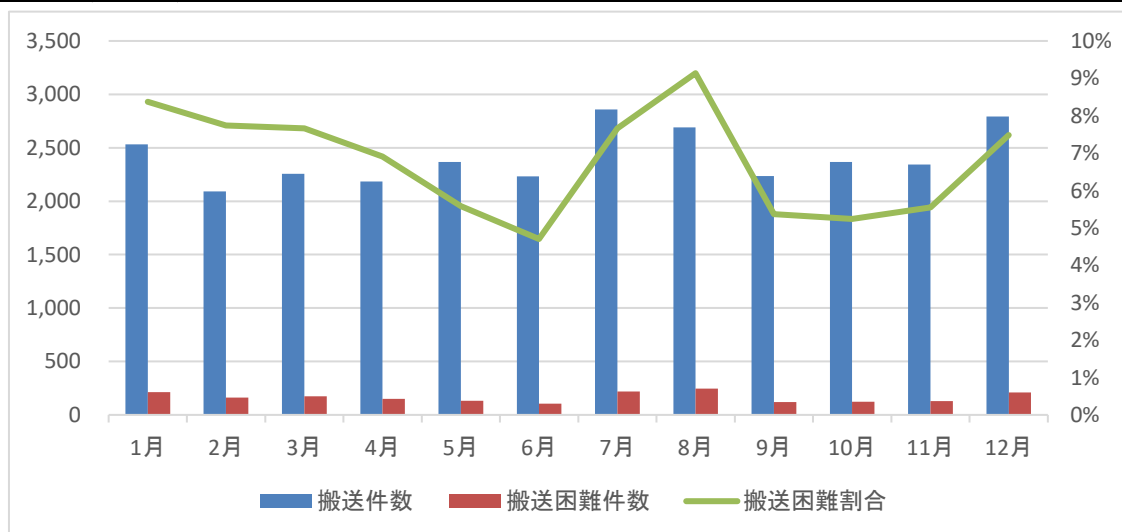
9 サンクスカード交付件数

令和6年中のサンクスカード交付件数は2件でした。

10 月別搬送困難件数

1月、8月、12月に搬送困難が増加しています。

	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
搬送件数	28,952	2,533	2,093	2,257	2,185	2,366	2,232	2,858	2,692	2,235	2,366	2,342	2,793
搬送困難件数	1,983	212	162	173	151	132	105	219	246	120	124	130	209
搬送困難割合	6.8%	8.4%	7.7%	7.7%	6.9%	5.6%	4.7%	7.7%	9.1%	5.4%	5.2%	5.6%	7.5%



救 急 業 務 沿 革

昭和

25. 10 姫路消防署救急業務開始
38. 4 消防法の一部改正により救急業務が法制化される。
4 飾磨消防署救急業務を開始（延2隊）
39. 2 救急業務を実施しなければならない市町村が告示される。（全国105市）
3 「救急業務実施基準」示される。
4 消防法に基づく救急業務発足
43. 4 網干消防署救急業務を開始（延3隊）
44. 4 姫路消防署飾西出張所救急業務を開始（延4隊）
45. 6 姫路消防署御国野出張所救急業務を開始（延5隊）
46. 3 飾磨消防署白浜出張所救急業務を開始（延6隊）
48. 1 消防大学校第5期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
9 姫路消防署城東救急分遣隊救急業務を開始（延7隊）
50. 4 「夜間救急対策費運営要綱」を制定、夜間救急患者の受け入れに協力した医療機関に
対する謝礼金制度を確立
7 飾磨消防署広畑出張所救急業務を開始（延8隊）
51. 1 国道2号線姫路バイパス開通に伴い、「消防救急業務の運用計画」を制定、有料自動車
道における事故等の対策を決定
4 消防相互応援協定の見直しを図り、一部隣接市町に対する救急業務の応援出場を削除
し、業務の適正化を図る。
4 「救急業務に協力した医師に対する報償金支給要綱」を制定、救急現場への医師確保
のための謝金制度を確立
8 積極的に救急業務に従事した模範救急隊員に対し、姫路東ロータリークラブから感謝状
が贈呈される。（毎年継続中）
9 隊員の健康管理のため特別検診を実施（毎年継続中）
12 「救急業務に関する規程」を制定、業務の一元化を図る。
52. 3 「大規模救助救急業務計画」を制定、多数負傷者発生時の対策を決定
53. 7 「救急隊員の行う応急処置等の基準」を告示される。これに伴い救急隊員の応急処置等
が義務化される。
7 同上基準の告示に伴い「救急業務に関する規程」の一部改正を行い、傷病者に対する
応急処置等を規定化
11 消防法施行令の一部改正により、救急隊員の資格要件明確となる。
54. 5 消防大学校第14期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
55. 1 救急事務電算化のための準備作業開始
7 アメリカ、カナダ救急事務システム等視察調査団に参加
9 救急隊員確保のため法的特例措置に基づく補充講習を実施し、有資格隊員65名を確保
10 業務開始30年、累計出場件数87,301件を記録
11 「救急業務に関する規程」の全部改正、「同事務処理要綱」を制定し、救急技術の向上と
業務の一元化効率を図る。

- 56. 1 救急業務の電算化開始
- 3 姫路消防署城東救急分遣所廃止
- 4 消防大学校第19期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 4 救急隊員確保のため法的特例措置に基づく補充講習を実施し、有資格隊員56名を確保
- 6 「消防署の組織に関する規程」の一部改正に伴い署に救急係を新設
- 6 姫路西消防署救急業務を開始（延8隊）
- 57. 6 累計出場100,000件を記録
- 8 脳外科輪番群受入体制確立
- 9 救急の日、救急医療週間が制定される。
- 10 休日緊急救護所後送病院制度確立
- 58. 4 県救急医療情報システムによる救急管制業務開始
- 61. 1 消防大学校第29期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 4 休日緊急救護所を廃止し、夜間急病センターに併設され休日夜間急病センターとなる。
- 4 消防法及び消防組織法の一部が改正され、これにより救急業務の対象及び応急手当が明確化される。（S62. 1. 1から施行）
- 7 休日夜間急病センターに耳鼻科、眼科が併設される。（日曜、祝日（振替日含む）及び年末年始）
- 62. 2 「救急病院等を定める省令」の一部改正される。（S62. 1. 12 厚生省令第2号）
- 12 姫路市医師会医療情報システム運用開始
- 12 休日歯科診療所開設される。
- 63. 4 救急救助係が新設される。
- 4 救急隊員の感染防止対策が図られる。
- 12 新CPR実施要領が定められる。
- 平成
元. 10 姫路赤十字病院が脳外科輪番群に入る。
- 12 (株)民間救急サービス（患者輸送サービス）営業開始
- 2. 1 消防大学校第37期救急科に派遣、隊員指導者の育成を図る。
- 11 姫路東消防署豊富出張所救急業務を開始（延9隊）
- 3. 4 消防課救急係新設
- 4 「救急救命士法」公布される。（H3年8月15日施行）
- 8 「救急救命士法施行令」公布される。
- 8 「救急救命士法施行規則」制定される。
- 8 「救急隊員の行う応急処置等の基準」の一部改正される。
- 8 「消防学校の教育の基準」の一部改正される。
- 8 「救急振興財団」設立される。
- 9 救急救命士受験資格者教育を開始（救急救命中央研修所）
- 12 救急Ⅱ課程教育開始（兵庫県消防学校）
- 4. 3 海外研修（アメリカのパラメディック制度及び市民指導方法）
- 6 救急救命士誕生（1人）

4. 9 応急処置拡大に伴う改正のため救急事務電算化の準備作業開始
- 11 救急Ⅱ課程者病院実習開始
- 12 救急Ⅱ課程対応救急車施行運用開始
5. 1 救急Ⅱ課程対応救急車運用開始
 - 1 救急事務新電算化開始（応急処置拡大に伴う改正）
 - 3 応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱制定される。
 - 4 姫路市救急指導医の嘱託制の開始
 - 4 救急救命士卒後病院実習開始
 - 5 救急救命士資格取得（2人）
 - 9 救急車医師同乗現場研修開始
6. 1 高規格救急車運用開始（姫路東消防署に配置）
救急救命士特定行為開始
 - 2 県立循環器病センター 特定行為の指示開始
 - 2 心電図伝送開始（4台）
 - 3 救急振興財団応急手当指導員講習（1人）
 - 4 整形外科輪番群受入体制確立
 - 5 救急救命士資格取得（3人）
 - 6 高規格救急車を飾磨消防署に配置（2台目）
 - 11 救急救命士資格取得（1人）
 - 12 姫路赤十字病院 特定行為の指示開始
7. 2 姫路市応急手当の普及啓発活動に関する要綱制定
 - 3 応急手当指導員資格者の養成（35人）
 - 4 救急救命士有資格者採用（1人）
 - 4 救急救命士九州研修所開所
 - 5 救急救命士資格取得（3人）
 - 6 国立姫路病院 特定行為の指示開始
 - 11 救急救命士資格取得（1人）（計12人）
 - 11 高規格救急車を姫路西消防署に配置（3台目）
8. 3 高規格救急車を網干消防署に配置（4台目）
 - 3 応急手当指導員資格者の養成（64人）
 - 5 救急救命士資格取得（3人）（計15人）
8. 8 ツカザキ記念病院 特定行為の指示開始
 - 11 救急救命士資格取得（2人）（計17人）
9. 3 高規格救急車を飾磨消防署広畑分署に配置（5台目）
 - 3 応急手当指導員資格者（81人）
 - 5 救急救命士資格取得（2人）（計19人）
 - 11 救急救命士資格取得（2人）（計21人）
 - 12 高規格救急車を姫路東消防署御国野出張所に配置（6台目）
10. 3 高規格救急車を姫路西消防署飾西出張所に配置（7台目）

10. 5 救急救命士資格取得（2人）（計23人）
 - 10 ツカザキ記念病院 月～金曜日（夜間） 特定行為の指示開始
 - 11 救急救命士資格取得（3人）（計26人）
 - 12 高規格救急車を飾磨消防署白浜分署、姫路東消防署豊富出張所署に配置（9台目）
 - 12 救急車の呼称名称の固定化
11. 3 高規格救急車を更新し姫路東消防署に配置
 - 5 救急救命士資格取得（3人）（計29人）
 - 11 救急救命士資格取得（3人）（計32人）
12. 3 高規格救急車を更新し飾磨消防署に配置
 - 4 女性救急隊員の乗務開始
 - 5 救急救命士資格取得（5人）（計37人）
 - 新日鐵広畑病院 特定行為指示開始（火・木・土 夜間）
 - 10 姫路市消防局救急業務開始50周年
 - 11 救急救命士資格取得（3人）（計40人）
13. 1 応急手当指導員資格者の養成（計409人）
 - 3 応急手当普及員の養成開始（24人）
 - 5 救急救命士資格取得（3人）（計43人）
 - 11 消防隊による救急支援出動（PA出動）の試行開始
 - 11 救急救命士資格取得（2人）（計45人）
 - 12 高規格救急車を更新し姫路西消防署、網干消防署に配置
14. 2 応急手当普及員の養成（30人）（計54人）
 - 5 救急救命士資格取得（1人）（計46人）
 - 5 応急手当普及支援員の導入
 - 9 上級救命講習会の開始
 - 11 消防隊による救急支援出動（PA出動）の本格運用
 - 11 救急救命士資格取得（2人）（計48人）
 - 12 応急手当普及員の養成（25人）（計79人）
15. 2 応急手当普及員の養成（14人）（計93人）
 - 2 高規格救急車を更新し飾磨消防署広畑分署に配置
 - 3 第一回 中・西播磨地域メディカルコントロール協議会開催
 - 4 包括的指示下における除細動及び事後検証の開始
 - 5 第一回 中・西播磨地域検証委員会開催
 - 5 救急救命士資格取得（3人）（計51人）
 - 10 女性救急救命士資格取得（1人）（計52人）
 - 12 消防団員応急手当指導員資格取得（115人）
16. 2 応急手当普及員の養成（17人）（計110人）
 - 2 高規格救急車を更新し姫路東消防署御国野出張所に配置
 - 5 救急救命士資格取得（2人）（計54人）
 - 7 救急救命士による気管挿管開始（2人）
 - 8 救急隊員によるAED使用開始

17. 2 応急手当普及員の養成（17人）（計127人）
 - 2 高規格救急車を更新し姫路西消防署飾西出張所に配置
 - 4 救急救命士有資格者採用（1人）
 - 5 救急救命士資格取得（3人）（計57人）
18. 2 高規格救急車を更新し姫路東消防署、白浜分署に配置
 - 4 救急救命士有資格者採用(1人)
 - 救急救命士(認定)による薬剤(アドレナリン)投与開始
 - 5 救急救命士資格取得(3人)
 - 12 救急件数が20年ぶりに減少(対前年比)
 - 救急隊員の心肺蘇生法要領の改正に基づく新プロトコールによる救急活動開始
19. 4 近隣北部3町の消防事務を受託し県下最大の管轄面積
 - 4 救急隊15隊で運用(3隊増隊・本部・林田・香寺)
 - 4 安富町の消防事務開始(委託終了)
 - 4 救急講習支援員1人配置
 - 4 救急救命士有資格者採用(1人)
 - 5 救急救命士資格取得(5人)
 - 12 救急医療体制検討会開催(全3回)
20. 3 高規格救急車を更新し姫路西消防署、飾磨消防署、姫路東消防署豊富出張所に配置
 - 4 第25回全国菓子大博覧会・兵庫(姫路菓子博2008)救急警備
 - 4 救急講習支援員増員(1人)
 - 5 救急救命士資格取得(4人)
 - 5 救急医療のあり方を検討する会議の開催(全6回)
 - 7 「傷病者受入照会マニュアル」運用開始
21. 5 救急救命士資格取得(3人)
 - 8 脳卒中プロトコール追加による新プロトコール策定
 - 10 消防法改正「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」
 - 12 高規格救急車を更新し、飾磨消防署広畑分署、姫路東消防署御国野出張所に配置
22. 2 高規格救急車を更新し、中播消防署に配置
 - 2 「脳卒中プロトコール」運用開始に伴う医師による研修会開催(2回)
 - 4 救急救命士有資格者採用(1人)
 - 12 救急出場件数が過去最高の24,291件を記録
23. 2 高規格救急車を更新し、姫路東消防署、中播消防署北部出張所に配置
 - 4 家島・坊勢両出張所に軽救急車を配置し、離島での救急業務を開始
 - 5 救急救命士資格取得(6人)（計114人）
24. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署飾西出張所に配置
 - 5 救急救命士資格取得(3人)（計117人）
 - 9 救急救命技術競技会の開催
 - 11 救急活動プロトコール一部改訂

- 25. 3 製鉄記念広畑病院 姫路救命救急センター開業
- 5 救急救命士資格取得(4人)(計120人)
- 7 PA出動範囲拡大
- 7 救命講習修了証デザイン変更
- 11 高規格救急車を更新し、香寺出張所、林田出張所に配置
- 11 兵庫県ドクターヘリ運行開始
- 26. 1 救急救命士(認定)によるビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管開始
- 3 姫路救命救急センタードクターカー運行開始
- 5 救急救命士資格取得(4人)(計127人)
- 5 第140回近畿救急医学会救急隊員部会を姫路で開催
- 11 高規格救急車を更新し、飾磨消防署に配置
- 11 救急活動プロトコル一部改訂(H25年以降 名称をプロトコルに変更)
- 27. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署、網干消防署に配置し、以降の更新車両はすべて4WDとすることとした。
- 2 第1回世界遺産姫路城マラソン開催に伴う警備実施
- 4 救急救命士資格取得(4人)(計131人)
- 11 地域メディカルコントロール協議会による拡大2行為追加講習実施
- 11 派遣型救急ワークステーション試行的運用開始(姫路聖マリア病院)
- 28. 1 リユース型救急感染防止衣使用開始
- 1 処置拡大(心停止前輸液、低血糖へのブドウ糖溶液投与)開始
- 2 高規格救急車を更新し、姫路東消防署、豊富出張所、北部出張所に配置
- 4 救急資器材管理供給システム(SPD)運用開始
- 4 派遣型救急ワークステーション本格運用開始(姫路聖マリア病院)
- 5 Web上での救急受診ガイド運用開始
- 5 市民による高規格救急車の寄贈(御国野出張所に配置)
- 5 救急救命士資格取得(3人)(計131人)
- 9 バイスタンダーサポートのためのThanksカード運用開始
- 11 地域メディカルコントロール協議会による拡大2行為追加講習実施
- 29. 5 救急救命士資格取得(3人)(計132人)
- 9 eラーニング受講者対象救命講習実施開始
- 11 高規格救急車を更新し、広畑分署、夢前出張所に配置
- 12 派遣型救急ワークステーションの実施病院の拡充(製鉄記念広畑病院)
- 30. 1 転院搬送隊の運用開始
- 4 救急救命士有資格者採用(5人)
- 5 救急救命士資格取得(3人)(計142人)
- 8 救急体制のあり方検討会開催(計3回)
- 9 救急車の適正利用動画配信開始
- 11 増位救急隊の試行的運用を開始

31. 1 高規格救急車を更新し、本部、飾西出張所に配置
 - 4 消防局に救急課を設置
 - 4 家島の救急艇を新造、運用開始
- 令和
元. 5 救急救命士資格取得(4人)(計142人)
 - 9 医療機関と合同でプレホスピタル連携訓練を実施
 - 11 救急搬送支援システムの試験運用を開始
2. 1 高規格救急車を更新し、姫路西消防署、白浜分署に配置
 - 1 国内で新型コロナウイルス感染者が発生
 - 2~ 新型コロナウイルス感染防止対策を図る
 - 4 救急救命士有資格者採用(3人)
 - 5 救急救命士資格取得(6人)(計141人)
 - 7 高規格救急車の寄贈を受け、姫路東消防署に配置
 - 12 アイソレーターを購入し増位出張所に配置
3. 1 救急搬送支援システムの試験運用終了
 - 2 高規格救急車を更新し、網干消防署、香寺出張所に配置
 - 3 高規格救急車(感染症対策車両)を更新し、増位出張所に配置
 - 5 救急救命士資格取得(6人)(計145人)
 - 5 高規格救急車の寄贈(2台目)を受け、豊富出張所に配置
 - 9 新型コロナ第5波により搬送困難事例急増
 - 10 播磨姫路救急搬送システム(HEARTS)本格運用開始
4. 1 軽救急車を更新し、家島出張所、坊勢出張所に配置
 - 2 高規格救急車を更新し、飾磨消防署、中播消防署に配置
 - 2 新型コロナ第6波により感染者の搬送が急増
 - 4 救急救命士資格者採用(4人)
 - 5 救急救命士資格取得(6人)(計146人)

派遣型救急ワークステーションの実施病院の拡充(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)
 - 7 高規格救急車の寄贈(3台目)を受け、林田出張所に配置
 - 8 新型コロナ第7波により救急件数及び搬送困難事例が急増

ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用
 - 10 マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証実験に参加
 - 12 新型コロナ第8波により救急件数及び搬送困難事例が急増

第170回近畿救急医学会救急隊員部会を姫路で開催
5. 1 高規格救急車を更新し、御国野出張所、夢前出張所に配置
 - 4 救急救命士資格者採用(3人)
 - 5 救急救命士資格取得(6人)(計151人)
 - 7 第49回兵庫県下救急担当者会議を姫路で開催
 - 8 ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用

月間の救急出場件数が過去最高数(3,371件)を記録
 - 12 年間の救急出場件数が過去最高数(34,342件)を記録

- 6. 3 高規格救急車を更新し、広畑分署、飾西出張所、北部出張所へ配置
- 4 救急救命士資格者採用(5人)
救急活動プロトコル一部改訂
- 5 救急救命士資格取得(6人)(計157人)
マイナンバーカードを活用した救急業務の迅速化・円滑化に向けた実証実験に参加
- 7 高規格救急車の寄贈(4台目)を受け、日勤救急隊を創設
兵庫県下初となる電動ストレッチャーを日勤救急隊に配備
- 8 ひっ迫する救急需要に対し非常用救急車を活用し臨時救急隊を運用
- 12 月間の救急出場件数が過去最高数(3,451件)を記録
年間の救急出場件数が過去最高数(35,278件)を記録